週刊 YEARBOOK

1979 昭和54年

日録20世紀

11|4
平成9年11月4日発行
(毎週1回発行)第1巻第35号
¥560
講談社

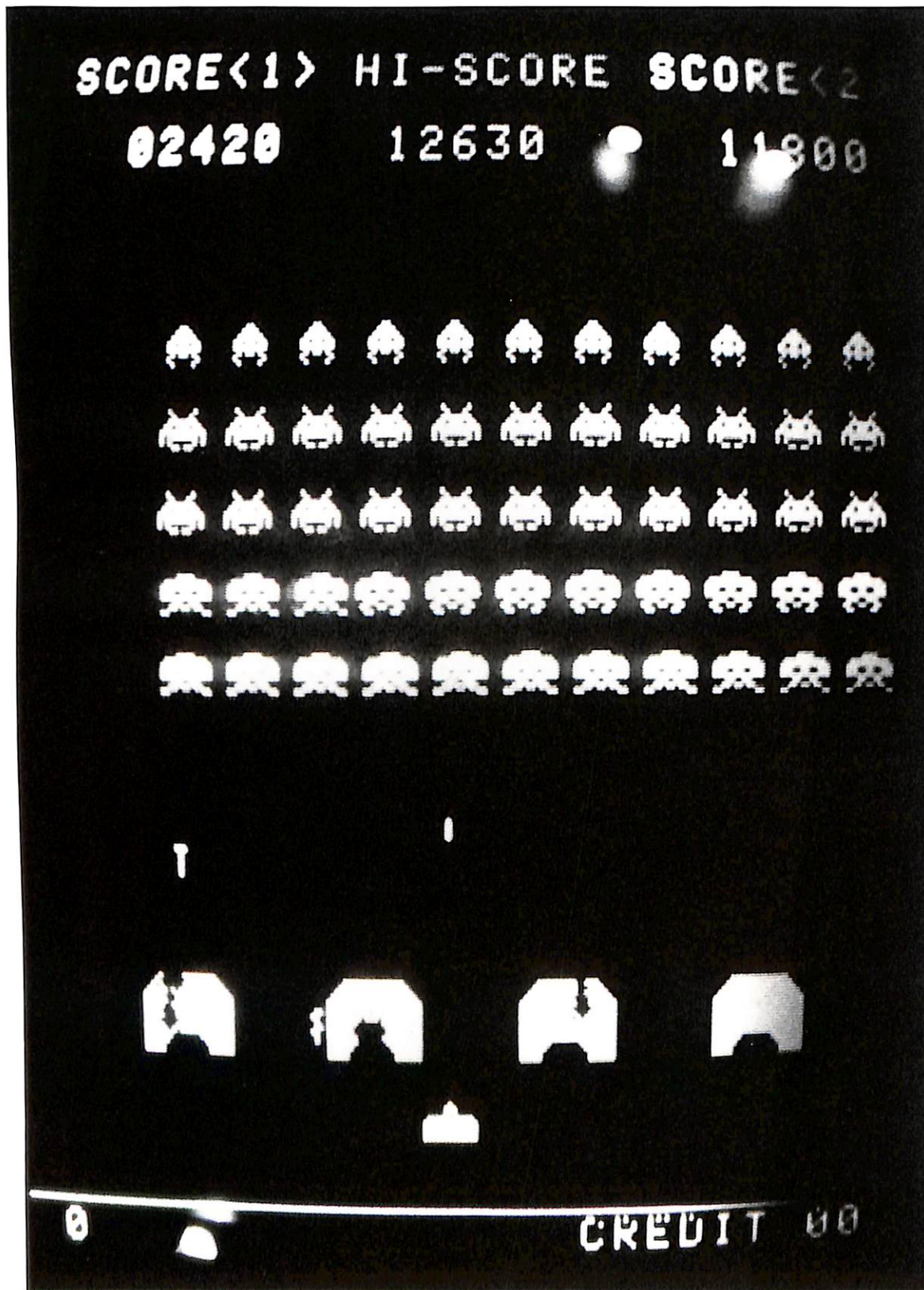
「インベーダー」大ブーム!

"ニッポン本"『ジャパン・アズ・ナンバーワン』の中身
世界的超ヒット! 「ウォークマン」開発物語
ホメイニ師帰国で爆発したイスラム・パワー

▲昭和54年、全国津々浦々の喫茶店は電子銃の銃声とUFOの飛行音であふれ返った。「スペース・インベーダー」は、最終的に国内で30万台が製造された。 共同通信社

◎表紙　イギリス首相のマーガレット・サッチャー。この年6月の東京サミットで来日した。 KARSH OF OTTAWA　CAMERA PRESS　ORION PRESS

全国28万台、1540万匹の〝侵略者〟
ゲーム王国・日本の幕を開けた「インベーダー」大ブーム！

▲「スペース・インベーダー」の盤面。1ステージをクリアするごとにインベーダーの動きは速まり、難度が上がる。 毎日新聞社

ピューン、ピューン――。昭和五四年、全国に電子音が鳴り響いた。前年にゲーム機メーカー・タイトーが発表した「スペース・インベーダー」は、この年全国的なブームを巻き起こし、おとなも子どもも百円玉をにぎりしめてゲームにかじりついた。わずか一年でこの大ブームは去ったが、以後、日本は世界の〝ゲーム王国〟への道を歩み始めたのだった。

おとなも子どもも熱中！一台が月五〇万円を稼ぐ

「インベーダーをやりたくて……」

昭和五四年六月一日午前八時三〇分頃、沖縄県那覇市内で補導された九歳の少女は、取調官に、こうつぶやいた。手にしたショルダーバッグの中には、前夜、隣家に忍びこんで盗んだ現金三〇万六八〇〇円の〝軍資金〟。しかも「インベーダーを学校が禁止しているから」と、約三〇〇キロ離れた宮古島からフェリーに乗って遠征してくるほどの執念だった。

ここまで少女を熱中させた「インベーダー」の正体は、前年の五三年六月にゲーム機メーカーのタイトーが発表した業務用テレビゲーム「スペース・インベーダー」だった。五五匹のインベーダー

全国28万台、1540万匹の〝侵略者〟
ゲーム王国・日本の幕を開けた「インベーダー」大ブーム!

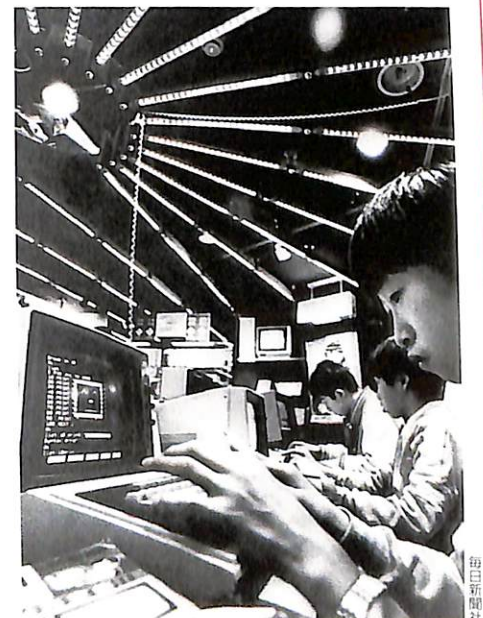
（宇宙からの侵略者）の攻撃をかわしながら、レバーと攻撃ボタンで砲台を操って撃墜するこのゲームは、「ブロック崩し」など従来のテレビゲームと違い、互いに攻撃し合う点が人気を呼び、五三年秋頃から全国的なブームになっていた。

一ゲーム一〇〇円にもかかわらず一台で月平均四、五十万円を稼ぎ出すほど。収益増をあてこんだゲーム場や喫茶店、駄菓子屋、はては理髪店や公衆浴場などまでがゲーム機を設置した。またプレハブ小屋や住宅地の車庫などを利用した専門店も登場、パチンコ業者からの転向も続出した。その結果、五四年七月には全国六万九八七五軒の店に二八万三八〇二台のインベーダーゲームが並んでいた。

▲この年、過熱する「インベーダー」ブームを反映して、〝東京六大学対抗合戦〟なるイベントも行われた。写真は、流行のインベーダー・ダンスを踊る、優勝した法政チーム。 崎原朝之／「週刊ポスト」提供

硬貨偽造に万引き多発した少年犯罪

おとなも子どもも、インベーダーを撃ち落とす快感に酔いしれた。五四年六月の協和銀行の調査では、都心の若いサラリーマン一六五人の月平均の遊戯回数は九回、金額にして四九〇〇円。中には一日三万円という猛者もいた。同じく六月に、東京・中野区の小・中学校生活指導の教師が作る「生活指導連絡協議会」は『インベーダー白書』をまとめ、小・中学生の実態を明らかにした。回答によれば、小学生の三九・七％、中学生の六五・一％がインベーダーを経験し、一回のゲーム代金の最高は中学生で一万五〇〇〇円。小学一年生で、最高二〇〇〇円というケースも見られた。

しかし子どもたちにとって、一ゲーム一〇〇円は少々高かったようだ。五四年三月頃から全国各地で変造百円硬貨事件が多発した。手口は五円硬貨にセロハンテープを巻きつけて百円硬貨大にするというもので、犯人はいずれも小・中・高生。さらに電子ライターをコイン投入口に近づけて点火しクレジット（硬貨投入枚数）をふやしたり、糸をつけた百円硬貨を投入してゲーム開始後に回収するなど、あの手この手でゲーム代〝節約〟に励んだ。さらにはゲーム代ほしさの万引きや窃盗など、犯罪に手を染めるものまで現れた。

▲東京・秋葉原のコンピュータハウスで、ゲームのソフト作りに熱中する少年たち。昭和57年12月。 毎日新聞社

こうした状況に、全国の教育委員会は「インベーダーゲームを自粛する指導を徹底する」（秋田県）、「インベーダーゲームで間違いの起こらないよう指導の徹底をはかれ」（滋賀県）と、対策に乗り出す。諸沢正道・文部初等中等教育局長（当時）も、「ためしにやってみたが、一〇〇〇円くらいアッという間になくなってしまう。これでは浪費と非行につながる」と〝インベーダー禍〟を憂えた。

次第に強くなる風あたりに、六月二日には、大手遊具機械メーカーや全国規模のゲーム場会社などからなる全日本遊園協会は、「一八歳未満は夜一〇時以降はゲーム場へ立ち入らせない。一五歳未満は日中でも保護者の同伴が必要」と自粛基準をまとめた。また、六月六日にイトーヨーカ堂・江別店（北海道）が自主撤去したのを皮切りに、六月一六日にはダイエーが全国一五五店舗にインベーダーゲームの撤去を通達するなど、設置業者の自粛も増加した。

こうした逆風の中、五四年の七月頃からインベーダーゲーム・ブームは急速に失速していった。しかしインベーダー包囲網が功を奏したわけではなかった。五四年八月から「月刊コロコロコミック」（小学館）に「ゲームセンターあらし」を連載し、ブームの一翼を担った漫画家のすがやみつる氏はこう語る。

「新しいゲームが次々に生まれ、内容もどんどん面白くなっていきました。ゲーム自体がストーリー性を持ってきて、マンガの主人公が入りこむ余地がなくなってしまうほどでした」

ゲームアナリストの平林久和氏は、当時の反応はエキセントリックにすぎたと語る。

「一九五〇年代にアメリカでテレビゲームが生まれた当時は、国立の研究所や大学などの研究者が研究成果を子どもに教えたり、学生がプログラミング技術を競うための教育的な意味があった。ところが日本では〝不良化の原因〟〝目が悪くなる〟となってしまった。それが今では、ゲームを通してコンピュータに興味を持ってほしいと、教育委員会から講演を頼まれるようにさえなっています」

インベーダーゲームの大ヒットは「世界のゲーム王国・日本」の幕開けを告げた。「パックマン」（昭和五五年・ナムコ）から「ストリートファイターII」（平成三年・カプコン）まで、次々と世界的ヒットとなるゲームを生み出し、平成六年には、年間約一九四五億円のゲームソフトが海外に輸出された。また家庭用ゲーム機の登場で、ゲーム業界の売上高は機器、ソフト合わせて一兆六〇〇〇億円（平成四年）に達したのだった。

「スペース・インベーダー」に続いた業務用テレビゲームの名作

「スペース・インベーダー」以降、日本のテレビゲーム産業創成期に生まれたゲームの数々は、現在でも「レトロ・ゲーム」と呼ばれ基板が取り引きされるなど、根強い人気を誇っている。

「ギャラクシアン」
（昭和54年・ナムコ）

攻撃してくるエイリアン（敵）を撃ち落とす点は「スペース・インベーダー」と同じ。ただし整列したままのインベーダーに対して、エイリアンは飛来しながら攻撃してきた。

「平安京エイリアン」
（昭和54年・電気音響）

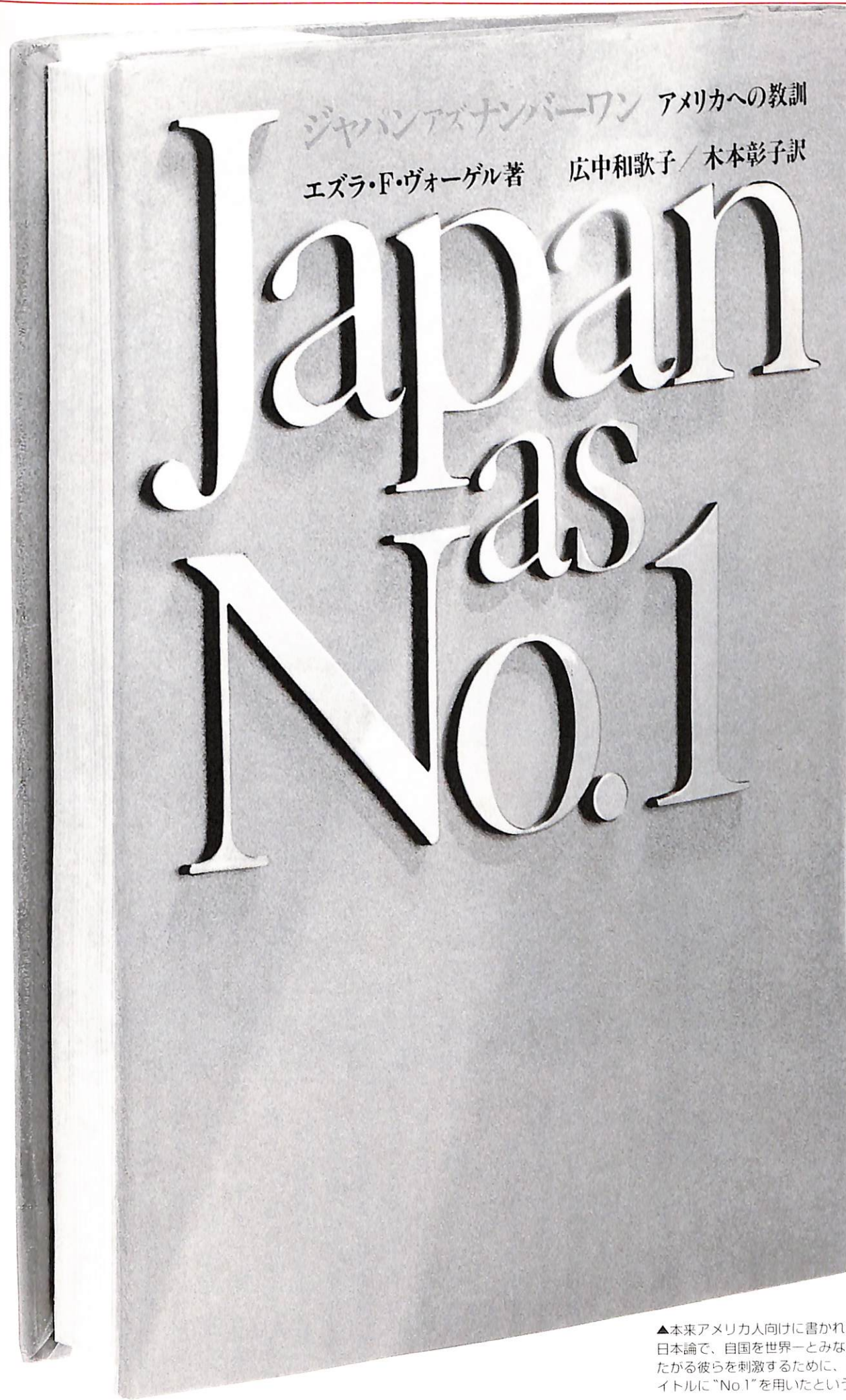
入り組んだ迷路をうろつくエイリアン（敵）に捕まらないように、落とし穴を掘って埋める。全部埋めると1面クリアだが、時間とともにエイリアンが増殖する。開発したのは東大生だった。

「パックマン」
（昭和55年・ナムコ）

パックマン（自機）を操り、迷路に並ぶドットを食べる。モンスター（敵）に捕まるとゲームオーバーだが、パワー餌を食べると反撃できる。アメリカではテレビアニメにまでなり、世界中で大ヒットした作品。

バンダイ提供

▲携帯ゲーム機まで登場した「インベーダー」。

〝ニッポン本ブーム〟と日米関係
六八万部のベストセラー！『ジャパン・アズ・ナンバーワン』の中身

▲本来アメリカ人向けに書かれた日本論で、自国を世界一とみなしたがる彼らを刺激するために、タイトルに"No 1"を用いたという。

◀昭和55年5月、日本電気府中工場を視察する仏ルシェール視察団。この頃、〝日本的経営〟への関心がとみに高まった。 毎日新聞社

「日本からの輸入が減らなければ、アメリカ人は、靴磨きにでもなるしかない」。米国労働界の大御所がこんな弱音を吐いた昭和五四年、ショッキングなタイトルの本が発売された。最終的に六八万部の売れ行きを記録することになる『ジャパン・アズ・ナンバーワン』は、当時の日米関係を象徴する異色の日本論だった。

大平首相の推薦と東京サミット効果

昭和五四年六月一日、アジアで初めての第五回主要先進国首脳会議（東京サミット）を約四週間後に控えたこの日、『ジャパン・アズ・ナンバーワン（世界一の日本）』なる本が出版された。いかにもアメリカ人のプライドを傷つけそうなこの本の著者は、日本の家族を二年間調査したこともある無名の日本研究家だったエズラ・F・ヴォーゲル（四九）。ハーバード大学教授の彼がアメリカ人向けに書いた同名本を、TBSブリタニカが緊急翻訳出版したのである。

本は、第一部「日本の挑戦」、第二部「日本の成功」、第三部「アメリカの対応」から構成され、日本を政府、大企業、教育、福祉などの面から分析。「官僚組織が強固で政権交代の影響を受けない」「企業の成功は、将来が会社の成功によって保証されるという自覚を社員に与えているから」「優れた労働力を生む日本の一律で質の高い教育」などと、日本の官僚制度や終身雇用、教育制度の具体例をあげながら、アメリカが現状を打破するには、産業構造の変化に巧みに対応している日本を見習うべきだと主張していた。

「話題になっていた東京サミットにぶつければ五万部は売れると見こんで二万ドルで版権を手に入れたんです。日本のエキゾチックさを特殊な伝統から解説せずに、戦後に欧米を参考にして作られた日本独自の社会システムに焦点をあてているのが、当時の日本人にとっても斬新でした」と語るのは、編集を手がけたTBSブリタニカの西脇禮門（れいもん）・現国際業務担当専門局長。

当初から売れ行きは好調だったものの、発売から約三週間後——東京サミットに出席する自分の〝援軍〟になると考えたのか——読書家の大平正芳首相（六九）が新聞でこの本を評価するコメントを出してから、さらにブームに火がつき始める。

「大平発言のインパクトはありましたが、本自体の面白さも大きかったと思います。まず、ヴォーゲル氏が日本文化の機微（きび）に触れた日本語を使いこなす語学の天才で、分析がわかりやすかった。さらに、このアメリカ人学者の日本観が、日本社会に好意的であっただけに、我々の感情をうまくくすぐったのかもしれません。結局、約半年間で五〇万部近くまで売れました」（西脇氏）

▲エズラ・F・ヴォーゲル（1930〜）。ハーバード大学社会学部教授。1958年以来、長期滞日3度。

日本礼賛のブームがジャパン・バッシングへ

こうした〝ニッポン本ブーム〟の背景にあったのが奇跡的な経済復興だ。敗戦直後、マッカーサーが〝一二歳の子ども〟にたとえた日本は、戦後一〇年にして貿易収支の黒字を記録し、昭和四四年にはその額が年間一〇億ドルを突破。さらに、五二年には一一七億ドル（うちアメリカへの輸出超過が一〇〇億ドル）に達するまでになっていた。〝一二歳の子ども〟は勤勉な青年に育ち〝寛大な父親〟と肩を並べるまでに力をつけたのである。

「そんな日本とは裏腹に、世界経済を支えてきたアメリカが自信を喪失（そうしつ）し始めたのも一九七〇年代後半でした。外交ではベトナム戦争の敗北、政治ではニクソン大統領がウォーターゲート疑惑で辞任。経済も二度の石油危機でガタガタと、アメリカ人が自国の政治や経済に不信感を抱き始めた時に登場したのが、クルマな

▲『セオリーZ』(昭和56年)日本企業の分析を通して独自の経営理論を展開。

▲『ジャパニーズ・マネジメント』(昭和56年)松下電器を軸に日本的経営を分析。

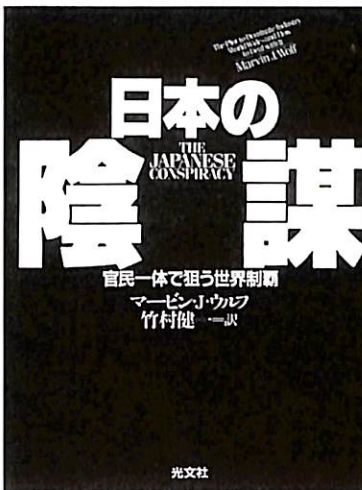
▲『ザ・ジャパニーズ』(昭和54年)元駐日大使ライシャワーのライフワーク。

▲『アジアの巨人・日本』(全4巻・昭和53年)戦後日本経済の本格的研究書。

▼『日本の陰謀』(昭和59年)世界市場制覇をもくろむ、日本の国家的陰謀を暴く。

▼『日本は悪くない！』(昭和59年)日米経済戦争における日本擁護論。

▼『ハーバード・ビジネスの日本診断』(昭和58年)日本研究10件の集大成。

▼『ザ・ジャパニーズ・カンパニー』(昭和56年)社会人類学者の「会社」研究。

▼『ジャパン・アズ・ナンバーワン再考』(昭和59年)"官民協力"の成功例を提示。

▼『ジャパニック』(昭和59年)日・米・欧の三極構造から世界経済をとらえ直す。

どで次々と輸出攻勢をかけ、石油危機も無難に切り抜けた日本だったのです」(創価大学・今川瑛一教授)

つまり、日米間の力関係に変化が生じていた時期に、日本の成功の秘密――こうした官僚制や終身雇用、教育制度が現在、大転換を迫られているのは皮肉な話だが――を分析してみせたのが『ジャパン・アズ・ナンバーワン』だった。

一方のアメリカでは一九七〇年代後半、あたかも知的エリートの一条件かのように、いたるところで日本礼賛の声が聞かれていた。その好例が『ジャパン・アズ・ナンバーワン』だったわけで、本自体は二、三万部と日本ほどの売れ行きを記録したわけではないが、"ニッポン本ブーム"や、日本的経営を自社に導入しようとする企業の動きにつながっていく。

「具体的に言えば、アメリカ企業が、日本企業の徹底した品質管理や合理的な在庫管理などを取り入れ始めたのです。それに対し、日本では、アメリカの反応に奢り、高慢になる傾向が強まりました。『ジャパン・アズ・ナンバーワン』の"アズ"は"イズ"ではない。つまり、この本は日本の優れた側面を特筆していたにすぎなくて、世界のナンバーワンだと言っているわけではないにもかかわらずです。この"はき違い"が、日本的経営の導入に失敗したアメリカの"日本異質論"を誘発したとも言えるでしょうね」と分析するのは、当時の日米関係に詳しい政治学者の佐藤誠三郎氏である。

事実、日本礼賛の声は、一九八〇年代に入ってアメリカのライバル・ソ連の国力が低下し、ゴルバチョフ大統領が登場すると、"日本脅威論"に取って替わられる。そして、一九八四年に日米でベストセラーになったM・J・ウルフ著『日本の陰謀』に象徴されるように、「四〇年前に失敗した米国征服を今度は経済ではたそうとしている」とささやかれるまでに日米関係は悪化。日本が最大の貿易黒字国になった八五年には、米国はプラザ合意によってドル高政策から円高ドル安攻勢に転じ、本格的なジャパン・バッシング(日本叩き)を開始したのである。

女たちの肖像

"女たちよ、強くあれ！"パルコのポスターに託したデザイナー・石岡瑛子の「檄」

稲葉真弓

日本を代表する女性グラフィックデザイナーと言えば石岡瑛子、パルコのポスターのアート・ディレクションと言えば石岡瑛子と、彼女が一九七〇年代の広告を通じて若者たちに放ったメッセージには強烈なものがあった。

そのパルコの広告キャンペーンがピークを迎えたこの年、彼女は春公開のルキノ・ヴィスコンティ監督の映画「イノセント」のポスターを制作。ヌードの金髪女性二人の真ん中に男が一人という大胆な構図や、八〇〇万円という破格の制作費が話題を呼んだ。また、アメリカの女優フェイ・ダナウェイにゆで卵を食べさせるCMや歌手の沢田研二をヌードにしたCM(いずれもパルコ)を手がけたのもこの年のことだった。

石岡瑛子の作品には、強い女、自立した女を感じさせるものが多いが、それは彼女自身の願望を反映しているととらえてもいいだろう。"女たちよ、強くあれ"というメッセージは、広告界に衝撃を与えたパルコのポスターによりよく表れているが、昭和四六年頃からたてつづけに話題になった作品には、果敢に生きることをテーゼに選んだ彼女の息づかいが感じられる。

「アンチ・センチメンタリズム」(四九年)
「裸を見るな、裸になれ」(五〇年)
「モデルだって顔だけじゃダメなんだ」(同)

いずれも彼女がかかわった作品のコピーだが、女性への檄ともとれる強い主張が感じられる。これらのポスターは、これまで広告で表現されてきた女性像にアンチ・テーゼを投げかけるとともに、「見る側」にも意識改革を迫った。

彼女は"表現者に年齢は関係ない"と生年月日を公表していないが、生まれは東京。グラフィック・デザイナーだった父親の影響を受けて、東京芸術大学図案科を卒業すると資生堂宣伝部に入った。昭和四一年、前田美波里を起用して話題になったサマー・キャンペーンのポスターは彼女が手がけたものである。七年間の勤務の後フリーに。パルコの一連のポスター制作で五〇年毎日産業デザイン賞を受賞。その後渡米し、アメリカ映画「MISHIMA」の美術監督を引き受けるなど活動の場を広げ、平成元年にはF・コッポラ監督の映画「ドラキュラ」で第六五回アカデミー賞衣装デザイン賞を受賞。近年では音楽ビデオの監督・脚本にもたずさわり、国際的なヴィジュアル・アーティストとして活躍している。

▶大阪万博のオープニングポスターも手がけた。 共同通信社

勝者・敗者

大部隊を拒んで単独行！長谷川恒男が達成した「冬季北壁三冠」の栄誉

阿部珠樹

ヨーロッパ・アルプスには「三大北壁」と呼ばれる難所がある。マッターホルン、アイガー、そしてグランド・ジョラスの三つである。冬場の登攀は困難をきわめ、多くのクライマーの挑戦をはねつけてきた。

この難所に、冬の単独登攀を挑んだ日本人登山家がいた。長谷川恒男である。

長谷川は、まずマッターホルンの北壁を昭和五二年二月に制覇する。翌五三年には三大北壁のうちでも最難関と言われ、日本人を含め、四〇人以上の登山家の挑戦を拒み続けてきたアイガーの北壁を、史上初めて冬季単独登攀に成功する。残るはグランド・ジョラスのみである。

長谷川のグランド・ジョラス北壁攻略は、三一歳のこの年、昭和五四年二月末に始まった。取りついたのは、北壁の中でも最もむずかしいフランス側のウォーカー稜というルートである。ロープの末端をハーケンで固定して登り、安定した場所まで来ると、再びハーケンを打ちこみロープをかける。まるでミノムシのようなスタイルで一歩一歩頂上をめざした。二月二八日から三月一日にかけては、最大の難所である「灰色のツルム」を攻略、"赤いエントツ"と呼ばれるこぶを経て、三月四日、頂上に立った。三大北壁を制覇したのである。

単独での「冬季北壁三冠王」になったのは、史上二人目。日本人ではもちろん初めての快挙だった。

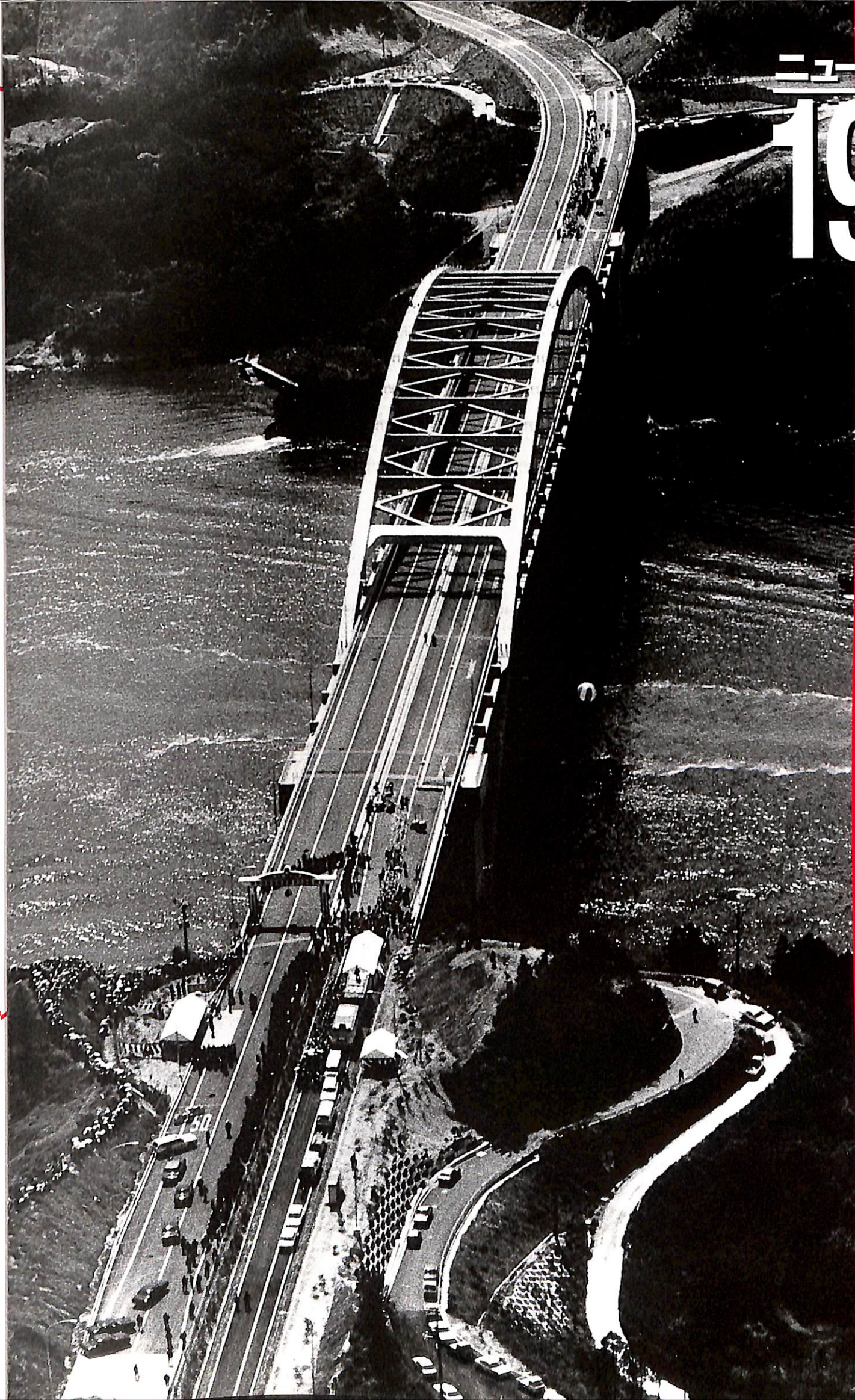
長谷川は標高四二〇八メートルの頂から、麓で見守る妻に無線で呼びかけた。

「ただ今、午前一〇時三〇分、頂上に着きました。ミツコ、ミツコ、元気だよ」

長谷川は中学時代に兄の影響で登山を始め、サラリーマン生活を経て、山のガイドやアルバイトをしながら山に打ちこんできた。昭和四八年には、橋本龍太郎(現・首相)を団長とするエベレスト南壁隊に参加したが、頂上をきわめるために多くの隊員の犠牲を強いる大部隊方式に反発を感じ、以後は単独行で、三大北壁に挑んだ。「北壁三冠王」の栄誉は、孤独を恐れない独立心と勇気が生み出したものだった。

◀平成3年10月、ヒマラヤのウルタルⅡ峰で雪崩にあい遭難。享年43歳。著書に『山に向かいて』『北壁に舞う』など。 共同通信社

石川文洋

ロイター／サン・テレフォト

▲中国副首相・鄧小平、米国訪問（1月28日）前年の共同コミュニケに基づき1月1日、30年ぶりに米中の国交樹立。この日カーター大統領と会談後、歓迎陣に手を振ってこたえた。

▲ベトナム軍、プノンペンを攻略（1月7日）ポル・ポト政権の民主カンボジアに反対する救国民族統一戦線とともに首都を落とした。写真は旧政権逃亡後のツウルスレン監獄で殺された人々の衣類の山。8月、300万人大虐殺が告発される。

読売新聞社

▼「話せる友達がほしかった」と中学生自殺（1月19日）東京・足立区の中学2年の男子が、友達にいじめられ一人の親友もいない寂しさから首吊り自殺した。少年が欠席しても学校は無頓着だったという。

読売新聞社

▶『古事記』の編者・太安万侶の墓発見（1月20日）奈良市東部の茶畑（右下）の盛り土から銅製の長さ29センチの墓誌と人骨（右）が出土。墓誌に「太朝臣安萬侶」とあり、人骨を太安万侶のものと断定。

朝日新聞社

▲共通一次試験開始（1月13日）国公立120大学が14日までの2日間に一斉に実施。試験業務のいっさいはコンピュータ管理、解答用紙はマークシート方式。偏差値による選別の強化など弊害も多く、平成元年度で廃止。写真は東大で。

◀猟銃男、銀行に籠城（1月26日）大阪の三菱銀行北畠支店を襲撃し、行員と客40人を人質にし、女子行員に全裸を強要するなどした。狙撃隊突入までの42時間に4人を射殺、本人も撃たれて死亡した。

読売新聞社

毎日新聞社

昭和54年1月

1（月）●米中、三〇年ぶり国交樹立。米、台湾と断交。
2（火）●北海道倶知安町のニセコスキー場でリフトが一〇〇メートル逆走。一六人負傷。
3（水）●日体大、明大破り大学ラグビーの王座奪還。
4（木）●全逓、公労委の闘争中断提案を受諾。●園山俊二「ペエスケ」が朝日新聞で連載開始。
5（金）●予算案内示。国債依存度は三九・六パーセント。
6（土）●飛鳥田一雄社会党委員長、都知事選立候補表明の太田薫合化労連委員長批判のメモを発表。
7（日）●具志堅用高、世界J・フライ級王座を防衛。日本人初の七連続防衛を達成。
8（月）●米グラマン社前副社長、早期警戒機売りこみで岸信介・中曽根康弘らが介在と公表。
9（火）●増産のため牛の「人工双子」に成功と新聞に。
10（水）●カンボジアでヘン・サムリン政権樹立。
11（木）●再販廃止に反対する出版流通対策協議会結成。
12（金）●前年の卸売物価は二〇年ぶり大幅下落と日銀。
13（土）●初の国公立大学共通一次試験。三三万人受験。
14（日）●東京で高校一年生が溺愛してくれていた祖母をナイフと金づちで殺害した後に自殺。
15（月）●蕨市、「成人式発祥の地」記念像の除幕式挙行。
16（火）●イランのパーレビ国王がエジプトに亡命（2月1日ホメイニ師、一五年ぶりに帰国）。
17（水）●イラン情勢を理由にメジャーが対日原油供給削減を通告。第二次石油危機。
18（木）●文部省、履修生制度など放送大学構想を示す。
19（金）●足立区で中学二年生が首吊り自殺（22日までに全国で一二人の小・中・高生が自殺）。
20（土）●奈良市で『古事記』編者・太安万侶の墓発見。
21（日）●福山市でシンナー中毒の少年が女友達の家族を包丁で刺す。一人死亡、四人重軽傷。
22（月）●前年物価一五位の東京が今年一位と英紙発表。
23（火）●河口湖で大量のマリモの繁殖確認。
24（水）●松江地裁、公選法の戸別訪問禁止に違憲判決。
25（木）●上越新幹線の大清水トンネル開通式。
26（金）●大阪市の三菱銀行北畠支店で猟銃男が強盗、四人射殺し籠城（28日犯人・梅川昭美を射殺）。
27（土）●大分県の岩戸遺跡で二万年前の集石墓発見。
28（日）●NHK、世界で初めて南極からの生中継放映。
29（月）●ソ連軍が国後・択捉島に基地建設中と防衛庁。
30（火）●前年の完全失業者は一二四万人で昭和二一年以来最高と閣議報告。
31（水）●江川卓、阪神と入団契約、即日、巨人の小林繁とのトレード成立。

ニュース・ファイル

1979

フォト＋日録で再現する365日

国公立大学の共通一次試験が始まったこの年、いじめによる中学生の自殺が世間を驚かせた。テレビの「ドラえもん」や「金八先生」は人気を博したが、小学生の殺人事件も起こる。大人の世界はと言えば、石油危機と保守化傾向が支配し、イギリスに女性首相が登場した。

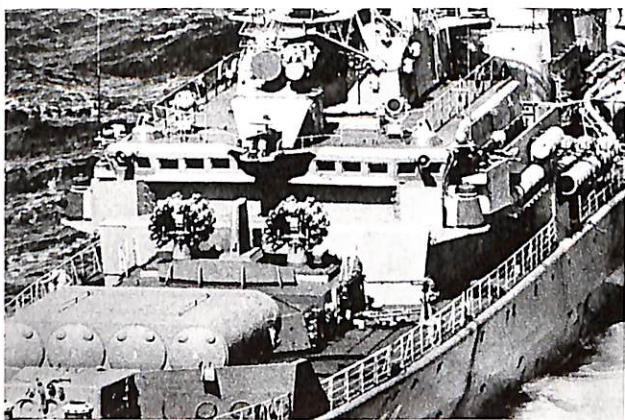
◀本州・四国連絡橋第1弾、大三島橋開通（5月12日）本土と四国を結ぶ「夢の架け橋」の尾道―今治ルートの第一歩。愛媛県大三島と伯方島間328メートルをつなぐアーチ橋が完成し、開通式が行われた。

毎日新聞社

▲「航空機疑惑」で日商岩井常務が自殺（2月1日）東京・赤坂のビル7階から飛び降り。米ダグラス、グラマン両社の政界を巻きこむ不正な売りこみを受けた海部副社長の直属の部下だった。

▲広島競輪で暴動（2月12日）レースの着順と配当金を間違えて発表したため、観客約1万人が激昂、投票所9ヵ所に放火、売上金300万円が奪われた。市は迷惑料として一人2万円を支払った。

▼東シナ海にソ連艦隊急行（2月26日）17日の中越戦争勃発で日本周辺海域が騒がしくなった。写真は対馬海峡を南下したミサイル駆逐艦「カシン」級。ソ連太平洋艦隊旗艦「アドミラル・セニャビン」も集合。

▲埼玉の宅地造成地から小判（2月7日）深谷市で整地作業をしていた不動産業者が発見。甕から江戸中期の元文小判489枚、時価約1億円が出てきた。写真は噂を聞いて集まってきた近所の人々。

▲一般消費税導入反対（2月8日）昭和55年度導入をねらう政府に対して消費者、中小企業者団体、労働組合が反対を表明。東京の日比谷野外音楽堂に8000人が結集、大会後、大蔵省前をデモ行進した。

▼マンションでガス爆発（2月10日）東京・池袋のマンション3階の一室でガスもれによる爆発があり、周辺の民家約70戸が爆風の被害。爆発もとの元ホステスは、路上に吹き飛ばされて15日死亡。

昭和54年2月

1（木）●グラマン疑惑で日商岩井常務・島田三敬自殺。●サントリー、創業八〇年記念し文化財団設立。
2（金）●東京都中央区議会議長が借金苦から蒸発。
3（土）●三越札幌支店がグッチの偽バッグを本物より一万円高く売っていたと新聞に。
4（日）●高知市の坂本竜馬像前で高校生が焼身自殺。
5（月）●全国町村会、運輸省・国鉄などに赤字ローカル線五〇〇〇キロ切り捨て反対を申し入れ。
6（火）●所沢市で高校生が「退学したいから」と模造拳銃で銀行強盗、一〇〇万円奪い逮捕。●広島衛生研究所が南極観測隊員の持ち帰ったペンギンからPCBを検出。
7（水）●大蔵省、金融機関に土地取得融資の自粛要請。
8（木）●山口百恵など日本のアイドルのブロマイドが中国で大人気と北京発外電。
9（金）●協和・太陽神戸など都銀六行、現金自動支払い機のオンライン提携に合意。
10（土）●池袋のマンションでガス爆発。二五人死傷。
11（日）●イランでバザルガン暫定革命政権成立。
12（月）●広島競輪で放送ミスから観客約一万人が暴動。●死蔵品の一位はジューサーミキサーと新聞に。
13（火）●一流ホテルに宿泊する受験生が急増と新聞に。
14（水）●衆院予算委、日商岩井社長ら三人を証人喚問。●国際保護鳥の極楽鳥の死体三〇〇羽を剝製用に密輸入した貿易商ら四人を逮捕。
15（木）●フルブライト留学協定、費用日米折半に改定。
16（金）●戦前の左翼関係発禁本二四三冊が米から返還。
17（土）●中国軍、ベトナムへの侵攻開始（中越戦争）。
18（日）●五億円要求の新幹線爆破脅迫犯、浜松で逮捕。
19（月）●テレサ・テン、偽造旅券での入国で取り調べ。
20（火）●国鉄、レンタカー事業への進出を決定。
21（水）●初のX線天体観測衛星「はくちょう」打ち上げ。
22（木）●この冬は明治二八年以来最高の暖冬と気象庁。
23（金）●住之江競艇で八百長と観衆暴動。一八人逮捕。
24（土）●新潟県寺泊町沖で石油・ガス層を発見。
25（日）●東京で初の日本人による朝鮮語コンテスト。
26（月）●日本体育協会、モスクワ五輪資金確保のためアマ選手のCM出演認可の事業計画発表。●横浜地裁、初めて個人住宅に眺望権認め、隣の別荘主に慰謝料支払いを命令。
27（火）●国公立一九大学四〇学部で二段階選抜（足切り）実施、一万余人が不合格と文部省。
28（水）●東京高裁、家庭内暴力の高校生の息子を絞殺した父親に執行猶予つき判決。

WWP

▲上越新幹線の大清水トンネル工事現場で火災（3月20日）谷川岳の直下を貫く全長22．2キロのトンネル坑内で出火、作業中だった14人のほか、救出に向かった二人も死亡する惨事となった。写真は翌日運び出される遺体。

▲米スリーマイル島で原発事故（3月28日）原子炉の破損で放射能がもれ、30日、州政府は周辺住民に避難命令を出した。メルトダウン（炉心溶融）の恐怖が募る中、4月1日、やっと安全宣言。原発に対する不安は世界に広がった。

▼日本女子、初のメダル（3月17日）ウィーンで開催された世界フィギュアスケート選手権大会女子総合で日本代表の渡部絵美（19）が3位。世界選手権連続出場7年目の快挙で、大きな目と健康美が人気となった。

▲美濃部都知事、お別れ（3月7日）昭和42年に誕生した初の革新都政は内外に衝撃を与え、3期12年の行政は都営ギャンブル廃止など多くの実績を残した。が、一方で福祉に傾きすぎたとの批判も受けた。

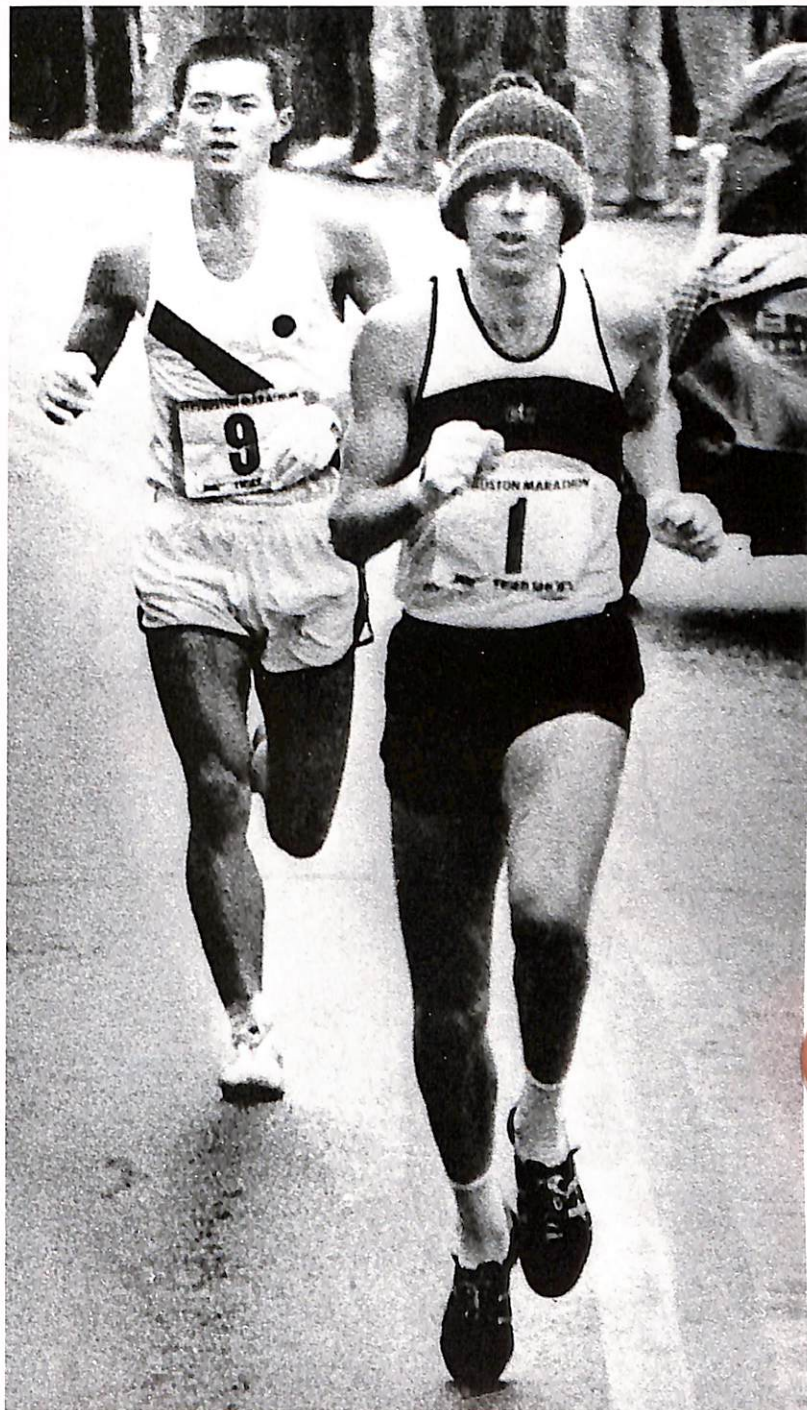
▲「天才」福永洋一、落馬（3月4日）9年連続リーディング・ジョッキーが、宝塚市の阪神競馬場第11レースで落馬し頭部を強打、騎手生命を絶たれた。平成8年、息子・祐一が初騎乗・初勝利でデビュー。

◀小澤征爾、北京で指揮（3月17日）米中国交正常化後の文化交流を担う米ボストン交響楽団の中国初公演を率いた。ガーシュイン「パリのアメリカ人」などに鄧小平副首相らがさかんな拍手を送った。

昭和54年3月

1（木）●福岡県立若松高校卒業式で、「君が代」に抗議し音楽教師がジャズ風に伴奏（5月8日免職）。
2（金）●東京都小笠原村、初の村長・村議選実施決定。
3（土）●日消連などが一日開設した「化粧品一一九番」にシミ九五件、黒皮症四六件の相談。
4（日）●騎手・福永洋一、阪神競馬場で落馬。
5（月）●愛媛県三崎町の中学校放火容疑で三年生の女子送検。成績競争に負け答案用紙を焼くため。
6（火）●三井物産、米スペースシャトル利用を斡旋する日本総代理店になると発表（6月19日調印）。
7（水）●「ボイジャー1号」の観測で木星にも輪と判明。
8（木）●トヨタ自販、車種別生産台数で三年連続首位のカローラが西独車ゴルフに敗れると発表。
9（金）●大型車への左折事故防止ミラーの装着義務化。
10（土）●環境庁、北太平洋上空でオゾン破壊調査開始。
11（日）●東日本に春の嵐。国鉄の列車一一三本が運休。
12（月）●文化庁、ドル減らしにシャガールなど四億八〇〇〇万円の美術品購入を決定。
13（火）●高島屋、初の女性重役・石原一子内定と発表。
14（水）●全国のダイヤル即時通話化が完成。
15（木）●政府、石油消費量五％節減対策を決定。
16（金）●大平首相、憲法上核兵器保有は可能と表明。
17（土）●渡部絵美、ウィーンの世界フィギュアスケート選手権大会で日本女子初の銅メダル獲得。
18（日）●石田元最高裁長官、防衛大で軍人勅諭を礼賛。
19（月）●西独メリタ社が家庭用レギュラーコーヒー製造・販売の子会社を日本に設立と発表。
20（火）●ラジオ・ジャパンの日本語講座テキストに中国から申し込み殺到、と新聞に。
21（水）●EC事務局、日本人は「ウサギ小屋に住む仕事中毒者」と対日戦略基本文書に表現。
22（木）●山口地裁、自衛官合祀訴訟で宗教上の人格権認め、遺族不承認の護国神社合祀に違憲判決。
23（金）●茨城県議会黒い霧事件で一六人が贈収賄有罪。
24（土）●倉敷市のスーパーニチイでの移動動物園でシベリアオオカミ脱走、山羊などを噛み殺す。
25（日）●福岡市、前年五月以来の給水制限を解除。
26（月）●エジプトとイスラエル、平和条約に調印。
27（火）●東京地裁、高田馬場駅での盲人転落死（48年）で国鉄の全面的な責任を認める。
28（水）●米スリーマイル原発で炉心溶融寸前の大事故。
29（木）●春闘初の全国婦人労働者中央大集会開催。
30（金）●最高裁、不倫相手への子の慰謝料請求を否認。
31（土）●専売公社、刻みタバコの生産を中止。

WWP

▶瀬古利彦(22)、ボストンマラソンで2位(4月16日)第83回を数える伝統のレースで、2連勝をねらうロジャース(右)に惜敗。写真は28キロ地点、心臓破りの丘での激闘。

共同通信社

▲元号法案反対集会(4月22日)元号の制定者を従来の天皇から内閣に変えたものの、元号制は国民主権の原則と矛盾するとの批判が強かった。が、6月6日元号法は成立。

音楽専科

▲ボブ・マーリー、初来日(4月7日)1970年代後半から世界中に広まったジャマイカ生まれのレゲエ音楽。その神格化された旗手が、東京・渋谷公会堂で熱演。

▼「グラマン疑惑」で海部八郎逮捕(4月2日)日商岩井副社長として米機不正取引に深く関与。政界工作解明が期待されたが、結局、5月に政治家訴追は断念された。

共同通信社

読売新聞社

◀鳳蘭、結婚したいと宝塚退団(4月19日)「ツレちゃん」と親しまれたトップスター(33)が大阪で涙ながらに記者会見。8月28日、東京宝塚劇場での公演を最後に退団した。

▲阪神・小林、巨人戦に燃える(4月10日)巨人の強引な江川獲得策で移籍して初登板。3点をとられながらも力投、勝利投手に。この年小林は巨人に8連勝し、沢村賞も獲得。

読売新聞社

昭和54年4月

1(日)●静岡県御前崎沖で海底地震計による観測開始。
2(月)●グラマン疑惑で日商岩井の海部八郎を逮捕。
3(火)●中国、中ソ友好同盟相互援助条約破棄を通告。
4(水)●所沢市に西武球場完成。三万人収容。
●パキスタンのブット前首相処刑。全土で暴動。
●君島一郎、パリで初のコレクション発表。
5(木)●ラジオカメラなど「複合商品」が流行と新聞に。
6(金)●石油五社、メキシコ原油輸入の日本連合結成。
7(土)●野村芳太郎監督の映画「事件」、日本アカデミー賞の七部門を獲得。
8(日)●統一地方選。東京都知事に鈴木俊一、大阪府知事に岸昌と保守知事誕生。
9(月)●米コロンビア大の日本人留学生が米人女性を殺害し逃走(10日逮捕)。
10(火)●東京の人気私設FM局の二大学生を書類送検。
11(水)●ウガンダで解放戦線が首都制圧しアミン脱出。
12(木)●ガット東京ラウンドで二二ヵ国が仮調印。
13(金)●アラブ諸国大使、NHKのイスラエル特集は偏見に満ちていると抗議。
14(土)●市川市のヘドロ集積処理場から大量のヘドロ流出。作業員宿舎の六人が生き埋め。
15(日)●北海道静内町のダム工事で落盤。三人死亡。
16(月)●公取委、三越の納入業者への押しつけ販売に排除勧告(25日三越、勧告を拒否)。
17(火)●日本建築学会が調査し選定した大正・昭和戦前の名建築六二三件を新聞に発表。
18(水)●東レ、半袖スーツなど省エネルックを発表。
19(木)●小山市の茨城相互銀行で二〇歳の女性が強盗。女性単独の銀行強盗は日本では初。
20(金)●神戸市立王子動物園、全国で初めて太陽熱利用動物舎の使用を開始。
21(土)●今村昌平監督「復讐するは我にあり」封切。
22(日)●富津市市長選で有効数取れず五人が全員落選。
23(月)●マイルドセブン以外は販売不振と専売公社。
24(火)●衆院、元号法案を賛成多数で可決。
25(水)●生計費最高は東京でニューヨークの倍と国連。
26(木)●長野県上山田町の住民運動実り、暴力団に契約切れの部屋の明け渡し命ずる地裁判決出る。
27(金)●環境庁、環境影響評価法案提出を断念。
28(土)●交通遺児育英会、匿名募金者が援助する「あしながおじさん」方式の募金を開始。
29(日)●山下泰裕、全日本柔道で史上初の三連覇。
30(月)●大平正芳首相訪米(5月2日カーター大統領と経済摩擦解消を協議)。

朝日新聞社

◀怪物ハイセイコー2世優勝(5月27日)府中の東京競馬場で開かれた第46回日本ダービーでカツラノハイセイコ(7番)がハナ差で優勝、父のはたせなかった夢をかなえた。売り上げ約170億円はレコードだった。

▼火星の地表に霜(5月18日)1号に続いて火星への軟着陸に成功したアメリカの無人探査機「バイキング2号」が火星の素顔を撮影、送信してきた。霜の厚さは100分の2ミリほど。写真は8月にNASAが発表。

WWP

証言・あの日この日

秋山さと子(56)

鳥羽和男

6月26日(火)　〈私のまわりには、学校なんかに行くのはあんまり好きじゃなくて、自分で勝手に面白いものを見つけて楽しんでいるという若ものたちが何人かいて、彼らがさり気なく、「これ、悪くなかったよ」などといって置いていってくれる本がある。たとえば、トールキンの『指輪物語』、G・ガルシア・マルケスの『百年の孤独』、ボリス・ヴィアンの『日々の泡』あるいは、ますむらひろしの『アタゴオルは猫の森』〉(秋山さと子『読書日録大全』)

この年9月、埼玉県の中学生がいじめを苦に自殺し、いじめや校内暴力が社会問題化していく。〈これらの作品が、今の若い人たちに、そして私にも、共通に訴えるものはなんだろうか。いずれも、ファンタジー、あるいは「反現実」を主調とし、その背後に、不思議なやさしさや悲しさを秘めた一種の透明感を持っている〉(坪内祐三)

▼サッチャー、首相就任(5月4日)英総選挙の結果、保守党が5年ぶりに政権奪取。ヨーロッパ初の女性宰相となった。53歳。「英国病」克服に辣腕を発揮、1976年にはソ連の海軍力増強を警告し、「鉄の女」のニックネームを得た。

WWP

共同通信社

◀尖閣列島魚釣島を学術調査(5月23日)領有をめぐり中国・台湾と係争中だったが、海上保安庁のヘリがまず着陸。28日から6月上旬まで、沖縄開発庁が利用開発の可能性調査を行った。

▼北の湖、33連勝ならず(5月15日)東京の蔵前国技館で行われた大相撲夏場所10日目、大関三重ノ海の出し投げで、ついに黒星。三重ノ海はこの年、31歳で第57代横綱になった。

読売新聞社

昭和54年5月

1(火)●公営ユースホステルの規制改定。門限を二二時半に延長、飲酒・麻雀を許可。
2(水)●神奈川県衛生部、愛川町で死亡した二人はペットの鳥から感染したオウム病と断定。
3(木)●連続保険金殺人の日本人容疑者二人が逃亡先のブラジルで警察との銃撃戦により死亡。
4(金)●英総選挙で保守党圧勝、サッチャーが首相に。
5(土)●二八消費者団体が子ども用欠陥商品展を開催。
6(日)●小野誠治、世界卓球選手権シングルスで優勝。
7(月)●一九歳以下の覚醒剤事犯は前年比約七四%増。
8(火)●日本野鳥の会、初の野鳥の楽園「サンクチュアリ」を苫小牧市のウトナイ湖に建設と発表。
9(水)●日本電気、パソコン「PC・8001」を発表。
10(木)●第一勧銀、ノーネクタイ勤務を認める。
11(金)●無限連鎖講(ネズミ講)防止法施行。
12(土)●本四架橋初の大三島橋が開通。
13(日)●福岡県立筑紫丘高校文化祭で公開実験の火山模型が爆発。生徒一七人が負傷。
14(月)●京都市交通局、洛西ニュータウン—阪急桂駅間六キロに電気バスの運行開始。
15(火)●北海道南大夕張炭鉱でガス爆発。一六人死亡。
16(水)●電電公社、家庭用ファックスの試作機を公開。
17(木)●インベーダーゲームの人気過熱で偽造硬貨の不正使用など少年非行続出、と新聞に。
18(金)●外務省、金大中事件の米国務省秘密文書公表。
19(土)●中禅寺湖からの放水再開され、日光・華厳の滝が一二八日ぶりに落水。
20(日)●国鉄の初乗り運賃が一〇〇円となる。
21(月)●沖縄開発庁、尖閣列島に仮設ヘリポート着工。
22(火)●川津英夫ら三人、モスクワ五輪国際ポスターコンクールで一等入選。
23(水)●日本とブルガリアの経済協力による豪華ホテル「ビトーシャ」、首都ソフィアで開業。
24(木)●警視庁、東京サミット時に都内交通量三〇%削減など大規模交通規制を決定。
25(金)●東京都中野区、教育委員準公選条例を施行。
●初任給が五年連続実質低下とリクルート発表。
26(土)●日弁連、倫理規程新設など会則を改定。
27(日)●ガソリンスタンドが日曜・祝日休業になる。
28(月)●神奈川県警、韓国ルートで覚醒剤密輸の暴力団組長ら四二人をこの日までに逮捕。
29(火)●平沢貞通氏を救う会、再審請求を断念と表明。
30(水)●司法試験二次試験で初めて全盲者が合格。
31(木)●ソ連探検隊が初めてスキーで北極点に到達。

読売新聞社

▼財田川事件、高松地裁が再審決定(6月7日)昭和25年に香川県で起きた殺人事件で犯人とされた谷口繁義被告に、死刑囚に対する初の再審が実現。昭和59年についに無罪を獲得した。

毎日新聞社

▲東京サミット開催(6月28日)東京・元赤坂の迎賓館で主要先進国7ヵ国首脳とEC委員長が出席し、アジア初のサミットが開かれた。先進国一体の石油戦略を策定した翌日、一行は慣れない箸を使い日本料理を味わった。

▼「省エネルック」大平首相が宣伝(6月6日)半袖の背広に簡易ネクタイで1着上下2万〜4万円。通産省が後援したが、サラリーマンの人気はさっぱり。

共同通信社

朝日新聞社

▲天然記念物イリオモテヤマネコの赤ちゃん保護(6月14日)体長約20センチ、生後1週間ほどの子ネコを西表島で発見。沖縄子どもの国で人工飼育することになった。

▶宮崎県知事・黒木博、逮捕(6月8日)土木業者から3000万円を受け取ったとして受託収賄罪に問われた。後に一審では有罪、二審は証拠不十分で無罪となった。

共同通信社

▼米ソ首脳、SALT IIに調印(6月18日)ウィーンで会談していたカーター(左)とブレジネフ(右)が総数制限などで合意し、戦略兵器拡大に一応の歯止め。

WWP

昭和54年6月

1(金)●通産省、高校野球中継の中止など第四次石油節減対策を決定(反発強く中継中止は削除)。
2(土)●課長職以上の女性は〇・三%と総理府調査。
3(日)●初の反原発デー。全国二〇ヵ所で集会開催。
4(月)●吉野家、ロサンゼルスに牛丼レストラン開店。
5(火)●日航、世界的な燃料供給減で大幅減便を決定。
6(水)●大平首相、省エネルックの「モデル」役で宣伝。
●富士通、米国に半導体工場設置と決定。
7(木)●高松地裁、財田川事件(25年)の再審決定、死刑囚への初の再審。
8(金)●黒木博宮崎県知事、収賄容疑で逮捕。
9(土)●来日中のレニングラード・フィル交響楽団員二人が亡命希望(10日米へ出発)。
●タガメは一四都県で絶滅と環境庁の動物調査。
10(日)●首都圏の大気浄化には三五%の緑化が必要と国立公害研究所発表。
11(月)●前年六月の宮城県沖地震で被害を受けた仙台市民一四人、国などに損害賠償求め提訴。
12(火)●元号法、公布・施行。
13(水)●AIU調査で生命保険金の平均は東京八〇〇〇万円、大阪六〇〇〇万円、と新聞に。
14(木)●地震保険見直し案を蔵相答申。全損限度額を一〇〇〇万円に引き上げなど。
15(金)●エネルギー対策閣僚会議、石油節減に映画館の開館を正午以降とするなどの方針を決定。
16(土)●ダイエー、人気過熱で社会問題化したインベーダーゲーム機を全国一五五店から撤去。
17(日)●沖縄県北大東島に赴任中の韓国人女医殺害。
18(月)●米ソ、第二次戦略兵器制限交渉条約に調印。
●医歯系専門予備校・東京ゼミナールの裏口入学斡旋詐欺容疑で斎藤博理事長逮捕。
19(火)●運転免許所持者が四〇〇〇万人突破と警視庁。
20(水)●魚の切り身の半数以上が不当表示と主婦連。
21(木)●小学生に「口裂け女」の噂が大流行と新聞に。
22(金)●七ヵ国労組代表などが東京労働サミット開催。
23(土)●富士フイルム、防水カメラを発売。
24(日)●カーター米大統領、来日。
25(月)●富士通、優勢伝えられたIBMに競り勝ちブラジルの銀行から超大型コンピュータを受注。
26(火)●近畿大、クロマグロの人工孵化に成功と発表。
27(水)●西武、消費者提案商品第一号のやかんを販売。
28(木)●東京で第五回サミット開催(29日東京宣言)。
29(金)●厚生省委託研究班、B型肝炎ワクチンを開発。
30(土)●米映画「スーパーマン」(C・リーブ主演)封切。

20世紀博物館

四万十とんぼ自然館 高知・中村市

環境とトンボの〝感性〟の関係がわかる自然の「王国」

桑原茂夫

▲オニヤンマでも、地域によってその姿は微妙に違うということがわかる。

水がきれいなことで知られる四国・四万十川の下流域に、たくさんのトンボが飛びまわる「中村市トンボ自然公園」、通称「トンボ王国」がある。この王国は社団法人〝トンボと自然を考える会〟が、多くの人から寄金を募る、いわゆるナショナル・トラスト方式で運営している自然公園である。

もともとここは池田谷と呼ばれる農耕地で、トンボの多かったところ。ちなみにトンボの語源は田んぼにあるという。その田んぼが減反政策で激減、荒れた草原になろうとした。この大ピンチに、今は〝トンボと自然を考える会〟常務理事の大役を担う杉村光俊さんが先頭に立ち、土地の一部を買い上げ、泥まみれになって池を掘り、王国の基礎を築いた。

そして昭和六〇年に王国建設がスタート、五〇㌶におよぶ池田谷全域の保護区化をめざしてきた(現在四〇㌶弱)が、すでに七四種類ものトンボがすむ王国になった。荒れた休耕地が、植物園と見まがうほどの多様な植物と、トンボやいろいろな小動物たちが集う、豊かな空間に生まれ変わったのである。

▲ボランティアなどの手によって、整備されたトンボ王国。

▼四万十とんぼ自然館は、トンボ王国の一角にあるログハウス風の2階建ての建物。

このトンボ王国の端っこの方に自然史博物館「中村市立四万十とんぼ自然館」(以下「とんぼ自然館」と略称)がある。平成二年にオープンしたこの「とんぼ自然館」には、世界でも例を見ない、トンボの標本の、膨大にして貴重なコレクションや、ほかの昆虫類の標本のほか、魚などの水中生物を飼育している水槽などがある。生物への理解を深めるためだ。それがどういう生物か知らなくては、その生物はもとより、その生物が生きる環境を理解できないという、前出の杉村さんの考えが反映されているのである。

ところで、トンボにはいろいろな種類があって、それぞれ好みの環境の中で生きている。杉村さんは「トンボは環境の指標です」と言い切っている。環境が変われば、そこに飛来するトンボの種類も変わってくるのだ。それで、たとえばこのあたりを飛んでいるムカシトンボというトンボから、壮大な夢が描かれる。ムカシトンボはその名のとおり、恐竜時代の化石に残された大昔のトンボに似ている。この「とんぼ自然館」には、ムカシトンボの標本も化石もあるから、両方を見比べることができる。この事実から、恐竜時代の環境は、この池田谷のような、日本列島に無数にある湿地帯に似ていたのではないか、と推測できるのだ。

そして杉村さんは、環境が生物にいかに大きな影響をおよぼすかを、館内に並べられたトンボの羽のデザインを見ながら語る。「日本列島のトンボには幽玄の趣があり、中国のトンボには、水墨画のような雰囲気が、また東南アジアのトンボはいかにも亜熱帯地域の派手さを持っているでしょ」と指摘し、この違いを環境に影響されたトンボの〝感性〟によるものだと言うのだ。トンボの感性! ちょっと変わった言い方だが、「とんぼ自然館」や自然公園を歩きまわっていると、とても自然に聞こえるのであった。

▲世界にも例を見ない800種3000点のトンボの標本コーナー。

●中村市立四万十とんぼ自然館
高知県中村市具同八〇五五—五
☎〇八八〇—三七—四一一一
JR中村駅からバス具同下車、徒歩一五分
開館時間=九時〜一七時
休館日=月曜日(祝日にあたる場合はその翌日)
入館料=一般四〇〇円

ベストセラー

中年男と若い女性の奇妙な恋 流行語まで生んだ『夕暮まで』

この年の話題作に吉行淳之介の小説『夕暮まで』がある。左記のベストテンにこそ載っていないが、上位三〇位までには入るベストセラーになった。

主人公の中年の男性と、処女であること（実際にそうなのかどうかはあかされない）に頑なにこだわる若い女性との交流がテーマになっているが、単純な恋愛小説ではない。作者特有の、皮膚感覚にまで言いおよぶような繊細な描写と、どこか乾いた男の心理描写が巧みに交差する、奇妙な味を持つ小説だった。

昭和四〇年から継続的に、いくつかの文芸誌に書き継がれた短編をまとめたものだが、この小説が話題になると、中年男性と若い女性というその組み合わせがクローズアップされて、〝夕暮族〟という流行語まででき、その名を冠した、怪しげな男女交際クラブさえ登場した。

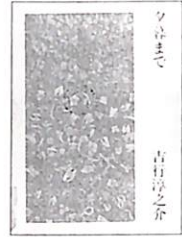
ところで、今では普通名詞のようになった『ギネスブック』の日本版がこの年刊行され、ベストセラーになった。それまで、その名前だけはよく知られていたから、読者の注目を集めたのである。実際ページを開けてみるとそこには、動植物から宇宙、宝石、本、音楽、建造物、乗り物、犯罪、宗教などあらゆるジャンルにわたる、感動的な記録から、思わず吹き出してしまう珍記録までが、詳しく記されていて、いわば人類に関する超短編小説のアンソロジーだった。

アンソロジーというと、すでに半世紀をすぎた昭和を振り返る『昭和萬葉集』が刊行され、全集もののベストセラーになった。全部で五万首を年代順に巻分けしておさめたもので、その時代の雰囲気がそくそくと伝わってくる、生きた昭和史とも言うべきアンソロジーとなった。

●昭和54年のベストセラー（単行本）

順位	書名（著者／出版社）
1位	『算命占星学入門』（和泉宗章／青春出版社）
2位	『天中殺入門』（和泉宗章／青春出版社）
3位	『指導の泉』（和泉覚／聖教新聞社）
4位	『サザエさんうちあけ話』（長谷川町子／姉妹社）
5位	『私の個人指導』（辻武寿／聖教新聞社）
6位	『四季・奈津子（上・下）』（五木寛之／集英社）
7位	『ジャパン・アズ・ナンバーワン』（E・F・ヴォーゲル／TBSブリタニカ）
8位	『頭のいい税金の本（改訂版）』（野末陳平／青春出版社）
9位	『ギネスブック』（N・マクワーター／講談社）
10位	『足寄より』（松山千春／小学館）

全国出版協会出版科学研究所

▲『ギネスブック』（講談社、980円）

▲『夕暮まで』（新潮社、900円）

▲『昭和萬葉集』全20巻（講談社、各巻1600円）

スターと名場面

「連続殺人犯」に「原爆男」！ 緒形拳、沢田研二の存在感

経済成長を謳歌する社会に、揺さぶりをかけるような犯罪をテーマにした映画が目立った。ひとつは今村昌平監督の「復讐するは我にあり」で、主役となる犯罪者は連続殺人犯。これを緒形拳が演じた。実際にあった事件がもとになっており、同時代を見せるリアルな映像だった。また、殺人犯の父親役の三國連太郎や、小川真由美、倍賞美津子らの脇役も迫力のある演技を見せた。

一方、長谷川和彦監督は「太陽を盗んだ男」で、中学の理科の教師に原子力発電所からウランを盗ませ、原爆を作らせた。主役の沢田研二が、歌手ならぬ、役者としての存在感を示した。

また、神代辰巳監督の「赫い髪の女」で、宮下順子と石橋蓮司が、性の奥深さを感じさせるからみを見せたのもこの年だった。不思議な哀愁が漂うこの映画は、にっかつロマンポルノの代表作のひとつと目されるようになった。

この年、ほかに次のような映画が公開された。かっこ内はおもな出演者。

「衝動殺人・息子よ」（若山富三郎）「チャイナ・シンドローム」（ジェーン・フォンダ）「銀河鉄道999」＝アニメ「ディア・ハンター」（ロバート・デ・ニーロ）

松竹提供

▲「復讐するは我にあり」で主役の殺人犯を演じた緒形拳（左）と彼に騙される役の小川真由美（右）。

▶「太陽を盗んだ男」で国家に挑み原爆製造に励むニヒルな男を演じた沢田研二。

©キティ・フィルム・フィルムリンクインターナショナル1979　東宝提供

日活提供

▲「赫い髪の女」で、激しくも哀しい恋を演じた宮下順子（左）と石橋蓮司（右）。

モノ語り'79

大豆たんぱく飲料「豆乳」、静電気防止剤「エレガード」そして、「パソコン」ついに登場！

▲ミシンにもコンピュータが内蔵された　この頃、家庭用ミシンはほとんどジグザグミシンで、自在に縫うことが可能になっていたが、取り扱いは複雑になる一方だった。そのような市場状況を一変させたのが、蛇の目ミシン工業が発売した「ジャノメ・メモリア5001型」だった。マイクロコンピュータ内蔵のミシンで、31種類の縫い方や、刺繍の模様を記憶させることにより操作はがぜん簡単になった。価格はポータブル標準タイプで18万8000円。

▲いよいよパーソナルコンピュータの時代へ　トレーニング用のマイクロコンピュータを製品化してきたNECが、個人レベルのユーザーを想定した「パーソナルコンピュータ・PC-8001」を発売し、パソコン時代の夜明けをもたらした。ベーシック言語でプログラムを簡単に組めることがセールスポイントのひとつで、高度な電子計算機としてのコンピュータを、身近なものにする画期的な商品だった。16万8000円という価格も破格だった。

▲価格も維持費も安い自動車　4人乗れるところを二人乗りにおさえ、リヤシートを多目的に使えるようにした鈴木自動車工業の「アルト」が〝乗用車的な商用車〟としてヒットした。1台47万円という低価格の魅力もあって、ビジネスユースのほか、地方における主婦の買い物などのためのセカンドカーとしても売れた。

▼ダビングできるテープレコーダー登場　2台のカセットデッキを搭載した、ステレオダブルカセットレコーダー「ザ・サーチャーW〈GF-808〉」がシャープから発売され、オーディオ市場に新しい流れを生み出した。1台9万5000円だが、この1台でテープが簡単に編集できるという新機能は、価格に十分見あうものだった。

▲大豆たんぱく飲料が注目された　大豆で作る乳飲料「豆乳」が紀文（現・紀文フードケミファ）から発売され、健康によい乳飲料として評判になった。それまでも豆乳はあったのだが、何よりも大豆の青臭い臭いが強く、受け入れられなかった。ほかにも、消化によくない面があったり保存性に問題があったりしたが、これらの問題をすべてクリアしてロングセラーになった。200ミリリットル入り70円。

◀スプレーで簡単に衣類の静電気を防ぐ　冬場に多くなる、静電気による衣類のまつわりつきを、スプレーするだけで防ぐことができる「エレガード」がライオンから発売されて大ヒット。今に続くロングセラーとなった。どこにでも持ち歩けるハンディタイプで、しかも、特殊なプッシュボタンの採用により、さかさにしてもスプレーできるという手軽さが、多くの女性に歓迎された。75ミリリットル入り400円。

◀遠くからでも見える紫色の回転灯　道路交通法で定められた停車表示の紫色を、自発光式の回転灯で示す「停止表示灯（フラッシュボール）」が、佐々木電機製作所（現・パトライト）から発売され、ロングセラーとなった。シガーライターソケットにプラグを差しこんで電源を得るが、コード接続なので置き忘れがない。また流線形のデザインが、発光面積を広くし、近くを通る大型車両の風圧を軽減した。乗用車用で4980円は今も変わらない。

人物クローズアップ

武田鉄矢（三〇）

ひたむきに演じた“本当の教師”ドラマ「金八先生」で人気沸騰！

▼勢ぞろいした3年Ｂ組。生徒役には、人気の「たのきんトリオ」も。 TBS提供

昭和五四年一〇月二六日、TBSテレビに「3年B組金八先生」という学園ドラマが登場した。放送時刻は金曜夜八時。つまり、放送時刻をそのままタイトルに取り入れたドラマである。

この番組は、それまでの学園ものとは毛色が違っていた。田舎臭く、泥臭く、しかし、悩める生徒たちに対しては、人生の意味を語り、生きることの尊さ、恋愛の素晴らしさを説く。それが金八先生こと坂本金八。そんな金八先生をひたむきに演じたのが武田鉄矢（三〇）だった。武田の個性は、ドラマの金八先生にピッタリだった。そして、その武田の個性が、茶の間の人々に本来の教育の意味をグイグイと問いかけていったのである。

武田鉄矢は、昭和二四年四月一一日、福岡市博多区麦野生まれ。それは福岡教育大一年生の時、四四年の夏だった。福岡市にヴィレッジ・ボイスという音楽サークルがあった。武田は仲間に誘われるままそのサークルに入り、三人でフォークソング・グループを結成することになった。その名は「海援隊」。武田の憧れの人・坂本竜馬にちなむ命名だった。

海援隊の拠点は、福岡市内にある「照和」という名のフォーク喫茶だった。財津和夫率いる「チューリップ」や井上陽水なども、ここを拠点に自分たちの音楽を模索していた。もちろん、みんな無名だった。「海援隊」が、東京へ出てプロとしての音楽活動をすることになったのは、四七年一〇月だった。ところが、まったく芽が出ない。もう一年がすぎようとしていた時、せっぱ詰まった武田は、母親から「こら、てつや」と叱られたり、「働け、働け」と励まされたりする、せりふばかりの歌を作り出した。「母に捧げるバラード」である。

この歌はアッという間に日本中を席巻し、一〇〇万枚を超えるミリオンセラーになった。しかし、それも長くは続かなかった。それ以降、武田たち三人の苦闘が続く。「母に捧げるバラード」の印税も底をつこうとしていた時、武田に突然幸運が舞いこんだ。山田洋次監督からの映画「幸福の黄色いハンカチ」への出演依頼だった。昭和五二年のこの映画で、日本アカデミー賞助演男優賞など多くの賞を獲得した武田は、俳優としても確固たる地位を確立した。しかし、山田監督がなぜ自分を指名したか、武田には今なおその理由がわからないという。

「3年B組金八先生」への出演依頼は、脚本家の小山内美江子じきじきのものだった。武田が聾唖学校の教師志望であったことを、小山内はおぼえていたのである。「自分の思い描く教師像と金八先生は、多くの部分が重なります」と武田は語る。武田は必死だった。時には生徒役の子どもたちを、本気で叱りとばした。演技のはずが、いつのまにか本当の教師になっていた。そうした迫力が視聴率を持ち上げた。平均視聴率二四・三%、そして最終回は四〇%に達した。

武田鉄矢は多くの顔を持つ。俳優、歌手、作家。昭和五八年にいったん解散した「海援隊」だが、平成七年、正式に再結成された。そして今も、全国を飛びまわる日々が続く。

▼昭和49年11月、結婚披露宴で武田のファンだった節子夫人と。左端が、ヒット曲「母に捧げるバラード」のモデルになった母のイクさん。

▲東京下町の桜中学に転勤してきた国語教師・坂本金八を熱演する武田。昭和55年3月に終了後も“金八ブーム”は衰えず、10月には「パート2」がスタートした。 TBS提供

決定的瞬間

木星の衛星イオに活火山！「ボイジャー1号」が撮った生きている太陽系の〝素顔〟

一九七七年夏の終わり。「ボイジャー2号」（八月二〇日打ち上げ）、「ボイジャー1号」（九月五日打ち上げ）と二機の惑星探査機がフロリダ州ケープカナベラルから宇宙に向かって発射された。「ボイジャー」は「航海者」というその名のとおり、太陽系の中でも地球から遥か離れた木星、土星、天王星（てんのう）、海王星（かいおう）をめざす旅をする。

この計画全体は〝グランドツアー〟と呼ばれ、一九八二年に予想されている〝惑星直列〟を利用し、地球より外にある惑星の観察を行うものだった。探査機は次々に惑星に接近し、その惑星の重力を利用して次の惑星に放り出してもらう〝スイングバイ航法〟をとった。

地球を飛び出した2号と1号は順調に軌道に乗り、秒速約二五キロという猛スピードで木星に向かう。途中、先発した2号を、より短い軌道を航行した1号が追い越した。

「ボイジャー1号」は一九七九年三月五日午前四時四三分、木星から二八万二〇キロの地点（最接点）に到達。実に約一〇億キロの双曲線軌道を、一八ヵ月かけて飛行したことになる。

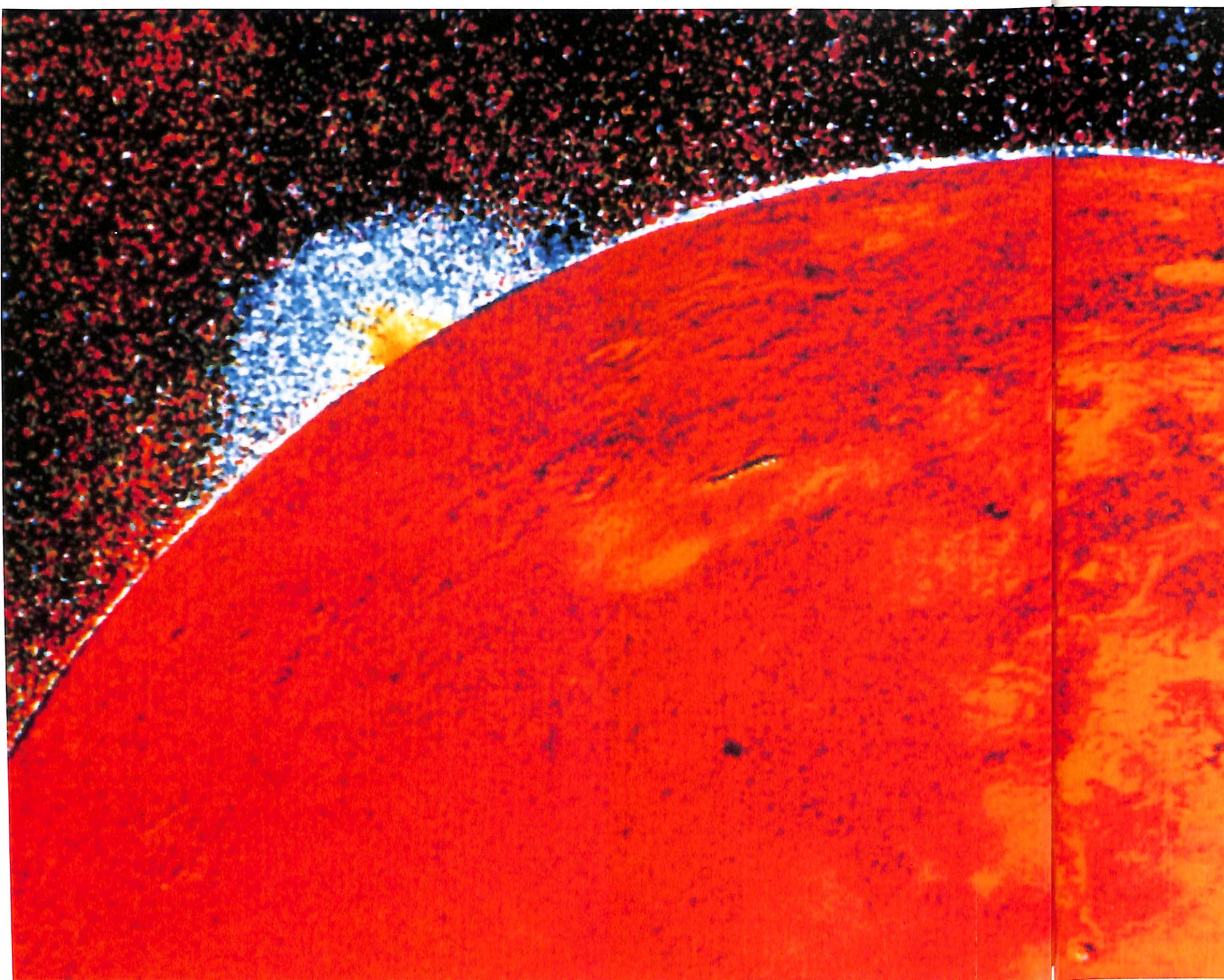
この一瞬を、カリフォルニア州パサデイナにあるNASAジェット推進研究所（JPL）では、世界中から集まったマスコミ関係者、科学者たちが見守った。

ところでその前日、光学航法データの女性分析技官リンダ・A・モラビトは、1号が撮影した木星の写真の中に、斜めに走る太くて白い筋を発見した。JPLはこの筋を精密に分析した結果、木星の輪であることを突きとめた。

また三月七日、木星最接近の騒ぎも終わって静まり返った研究室で、リンダは衛星イオの写真の南半球の縁にマッシュルームのような像があることを発見、ただちに画像科学チームに連絡した。研究所に再び活気と興奮が渦巻いた。二日間にわたって写真を精密に解析した結果、このマッシュルーム状のものが活火山であることが判明した。太陽系で地球以外に火山活動が発見されたのは初めてである。日本の宇宙学の権威、小尾信彌（おびしんや）放送大学学長は、「火山とは何か、という定義の問題にもなりますが、地殻を突き破り大量のガスが噴出していることをとらえて火山とするならば、まさに火山が発見されたと言えます」と言う。

火山は八ヵ所で確認され、最大の噴煙は二六〇キロの高さにまでおよんでいた。火山活動のエネルギーは木星の潮汐力（ちょうせき）によるもので、イオ内部で摩擦熱が生じ、地殻内の硫黄堆積物が熱せられ、硫黄や二酸化硫黄のガスが噴出している、と考えられた。

1号はその後土星に向かい、一九八〇年一一月一二日、土星に一二万四〇〇〇キロにまで接近して詳細な写真を電送した。一方、2号は天王星、海王星にまでいたり、これらの惑星を直接探査するという成果のほかに、天王星で一〇個、海王星で六個の新衛星を発見するなど、予想を超える働きをした。

NASAの関係者は「一年に国民一人当たり一ドル足らずの予算でほかのプラネット（惑星）のことを知ることができるのは素晴らしいことだ」と胸を張った。遠い惑星から膨大な情報をもたらした「ボイジャー1号」と「ボイジャー2号」は、太陽系のはてに向かって、現在も孤独な飛行を続けている。

NASA／SCIENCE PHOTO LIBRARY／PPS(2点とも)

▲衛星イオの活火山が、〝噴火〟している様子をとらえた1枚。イオは、1610年、イタリアの天文学者・ガリレオが発見した木星の衛星で、大きさや密度は、月に似ている。
▶「ボイジャー1号」が木星に最接近した際に撮ったイオの地表。放射模様を持つ黒点は、溶岩流を生じた火口と見られ、高温の硫黄がたまっている。赤・黄は温度の低い硫黄、白は二酸化硫黄の霜だと考えられている。

美の出会い

山口百恵が、水沢アキが……一三五人のまぶしい肢体 篠山紀信「激写」大ブーム！

◀水沢アキ。54年の新年第1号の「GORO」に登場、2日間で完売の新記録を打ち立てた。グアム島ガン・ビーチにて。

▲篠山紀信。昭和15年生まれ。『オレレ・オララ』など写真集は多数。

昭和五四年五月、写真家・篠山紀信（三八）の『激写・135人の女ともだち』が小学館から発売され、たちまち七〇万部を超えるベストセラーになった。同社の若者向け隔週刊誌「GORO」の五周年を記念して刊行されたもので、そこには同誌の巻頭を飾った山口百恵（二〇）、水沢アキ（二四）、神保美喜（一八）、アグネス・ラム（二三）ら有名タレントや女優から無名の少女にいたるまで一三五人のヌードや水着姿があふれていた。

「今から思えば、写真は篠山紀信、アートディレクターが長友啓典というレベルの高い仕事でしたね。若者だけでなくおとなにも人気があったようです」と、当時、「GORO」の編集にたずさわっていた根本恒夫氏が語る。猥褻な感じやいやらしさがなく、すがすがしく健康的な裸身が新鮮で、中学校の校長からも感想文が寄せられたそうだ。

この年の三月三一日、NHK総合テレビは午後八時のゴールデンアワーに特集番組「山口百恵／激写・篠山紀信」を放映。山口百恵の一四歳から二〇歳までのプロフィールを篠山のスチール写真で全国の茶の間に流した。そして四月二〇日から五月二日にかけて、「大激写展」が池袋の西武百貨店で開催。ついで『激写・135人の女ともだち』の刊行と、この年は「激写」ブームが頂点に達した。

この「激写」なる新語が生まれたのは、四年前の山口百恵の撮影の後だった。

昭和五〇年四月、篠山は「GORO」の創刊一周年記念号のため、当時ハードスケジュールをこなしていた山口百恵が映画「潮騒」のロケから帰ってきたところをつかまえて撮影した。この頃、篠山は講談社の「少年マガジン」でも「熱撮・カメラ小僧」の連載をしていた。これに対抗して「GORO」編集部は、新たなネーミングを何にするか議論した。その時、篠山がメモ用紙に「激写」と大きく書いて、そのまま決まったそうである。

以後、「GORO」の表紙をはじめ駅のポスター、電車の中吊り広告まで、すべての媒体に「激写」のキャッチフレーズが使われるようになった。同年一一月に別冊の「激写」第一号が発売されると、初日に完売、二週間後の増刷もたちまち売り切れる。「激写」は流行語となり、激写・篠山紀信ブームが起こった。B倍判（一五三×一〇七センチ）の別冊「激写」の駅張りポスターは、小学館宣伝部があきれるほど、次々に剥がされ盗まれたという。

女性の水着写真が氾濫していた当時、なぜ篠山の「激写」がこれほどのブームになったのだろう。「読売新聞」（昭和五四年六月一六日）のインタビューに答えて、篠山は次のように述べている。

「少女の生活の内側まで踏みこんだ生活レポート風にしようと。そうすれば読者は、そこに登場するモデルと写真を通じて友だちになれる。同時代を生きる少女とアイデンティティーを共有できる。そんな写真がねらいでした。だから撮影も、単純に裸になった姿を撮るのではなくて、自然な生活環境の中での裸を撮ることに苦心したわけです」

この「読者がモデルと友だちになれる」ようにするために、篠山はみずからをいい女を紹介する〝ポン引き〟と位置づける。写真家の独断と偏見で撮られた写真ではなく、読者の要求を満たしていく写真を撮らなければならない。そのためには、ふつうの仕事よりも冷静な計算が必要である。彼はモデルをほめそやし、暗示にかけて安心させる。話術を駆使して、モデルが羞恥心や緊張感から解放され、みずからの殻をとりはずして気持ちを和らげるまで、雰囲気作りを大切にする。

モデルとカメラマンが心理的に一体になるところにこそ篠山の「激写」の魅力とエネルギーがあり、その熱気が読者に伝わったのである。

▲『百恵』（昭和55年・集英社）。「激写」を中心に、デビューから引退まで、山口百恵7年の歩みを集大成。

▲『激写・135人の女ともだち』（小学館）。発売後2週間で増刷という、爆発的売れ行きを見せた。

▲まだ堀越学園に通う高校生だった神保美喜。「激写」シリーズに2度登場。 篠山紀信／小学館「激写・135人の女ともだち」

篠山紀信／小学館「激写・135人の女ともだち」

「現場」を歩く

君津

“虎騒動”神野寺小動物園の檻の中

山本徹美

昭和五四年八月三日午前四時頃、千葉県君津市鹿野山にある琳聖院神野寺から木更津署へ「飼育中の子虎が二頭、逃げた」と通報があった。同署では県警機動隊や、地元猟友会などに連絡。約八〇〇人が捕獲のため神野寺に集結した。

▲逃げ出した虎が飼われていた、神野寺の小動物園の檻。今は虎の絵だけが飾られている。　但馬一憲

翌日午前一〇時すぎ、猟友会の一員が神野寺の南約二〇〇メートルの山林内で二頭のうち一頭の虎（一歳、雌）を発見、ただちに射殺。そのことについて午後三時頃、同寺の山口照道住職（当時・六五歳、平成七年七月没）が、言及。

「殺すなど最悪の処理。虎よりも人間の方がよっぽど凶暴だ」

これに猟友会が猛反発、もう一頭の捜索を中断する一幕もあったが、山口住職が謝罪し再度参加。二七〇〇人の捜索隊を結成したが、成果はあがらない。

同月二八日、寺から南東へ約四キロの民家から「飼い犬が食い殺された」と警察に届け出があり、捜索隊が急行、裏山にひそんでいた虎（一歳、雄）を仕とめた。

軽犯罪法違反の罪で木更津簡易裁判所に起訴された山口住職は、

「虎の檻への出入り口は二重扉になっていて、鍵はそれぞれの扉にかけてあった。どちらとも何者かによって、開けられた」

と、無罪を主張したが、五八年四月、拘留二〇日の刑を言い渡され、控訴。上告中の平成元年二月、赦免となる。

虎が消えた寺

聖徳太子の勅願によって建立、徳川家康の菩提寺だった神野寺には左甚五郎作の白蛇、運慶作の十二神将像など干支に関係する宝物が安置してある。山口住職は虎を一三頭飼い、ほかに十二支にちなむ牛、馬、羊、猿、猪などを飼っていた。動物たちはどうなったのか、訪ねてみる。

住職は照道氏が亡くなってから子息の山口照玄氏（四八）に引き継がれていた。

「今も虎めあてに参拝される人がいますが、もう虎は飼っていません。ほかの動物は健在です」

境内の小動物園には、孔雀、赤毛猿、鹿、山羊、犬などが檻に入っていた。最奥に虎の入っていた檻があり、中には実物の代わりに画が飾ってあった。

本堂と宝物殿には生後間もない赤ちゃん虎の剥製が四～五体ずつ陳列してある。「先代は動物飼育を『布施行』と称していた。たしかにお金も手間もかかる。私には負担で、減らしたいのですが猿も鹿もふえる一方で各三〇頭。頭が痛い」

愛犬エス（雌、雑種）が虎の餌食となった榛沢やすさん（六六）の述懐。

「エスは息子の車の音をおぼえていて、帰ってくると大喜びで吠えていたものです。虎が逃げたのは知っていましたが、特に怖くはなかった。後で神野寺さんがお見舞いに来て、『虎と一緒に供養するので犬の首輪をください』と言うので形見を渡し、墓に埋めてもらいました」

それ以降、榛沢さんは「死ぬとつらい」ので犬を飼うのはやめたという。

この騒動の真の“被害者”は、エスと二頭の虎であったのかもしれない。

共同通信社

▲27日間逃げまわったすえに射殺された雄の子虎。この間、付近には夜間禁足令まで出された。

1億6000万台の世界的ヒット商品！

若者のファッションを変えた「ウォークマン」開発物語

発売以来一億六〇〇〇万台という驚異的ベストセラーとなったウォークマン。今や国際語となり、若者の生活と切っても切れない必需品も、発売にこぎつけるまでは「こんなもの売れない」という反対論の渦に巻きこまれ、あわや流産寸前、という秘話を持っていたのである。

▲昭和54年7月1日発売の「ウォークマン」TPS-L2。高さ133.5×幅88×厚さ29ミリ、重さ390グラム。ステレオ・ヘッドフォンを含む価格は3万3000円だった。

強い反対論続出の中で出発したウォークマン

「何しろ録音のできない機械では、売れるとは言い切れない」「スピーカーがついてませんからね、ヘッドフォンだけで音楽を聴くのはかったるい気がします」。

昭和五四年二月、東京・品川のソニー本社会長室では、盛田昭夫会長（五八）と、ソニーの国内営業を担当するソニー商事の社長、営業本部長兼任の専務、テープレコーダー営業部長らが鳩首協議を重ねていた。この年の六月に発売が決まったカセットテープ型ヘッドフォンステレオ

▶流行のローラースケートをしながら、ウォークマンを楽しむ若者たち。ヘッドフォンは二つ取り付けられる。 産経新聞社

の販売予測を検討していたのである。セールス部門は端的に言って、売れないと判断していた。後に「ウォークマン」と名づけられた世界的大ヒット商品は、このように発売が決定した後まで、反対論が渦巻いていたのである。ウォークマンを企画した黒木靖夫PP（プロダクト・プランニング）センター部長（四七）は、その時、盛田とこんな話をしていた。

「会長、あの人たちに売れるか売れないかを判断しろと言っても無理です。みんな四〇歳以上ですから。僕らはこれをティーンエイジャーに売ろうとしている。彼らに若者の気分になって返事をしろというのは酷だ。もちろん我々だって四〇歳以上だ。だけど会長も僕も毎週『ポパイ』を読んでますからね」

ウォークマンは、「瓢箪から駒」で誕生した。もともとカセットテレコを、ソニーの若手技術者が改造し、パーソナル・ヘッドフォンステレオとして楽しんでいたのがヒントになって企画されたものだ。カセットテレコのスピーカーを取り、ステレオの基板を入れ、再生ヘッドをステレオにし、イヤホンをヘッドフォンにつけ替えて、個人的に楽しんでいたのだ。

だから、技術的には何ら新しいものはなかった。出来合いの技術を組み合わせただけで世界的なヒットが生まれた希有な例がウォークマンなのである。

ためしにその音を聴いた黒木は、その時の印象を「こんな小さな機械からこんな迫力のある音が出るのか不思議でしょうがなかった。まるでベートーヴェンの『運命』の出だしを脳天にたたきこまれたような気がしたものでした」と言う。

黒木はこれを借りて、すぐに井深大ソニー名誉会長（七一）と盛田のもとに走った。ソニー創業以来のトップ二人は、それぞれに面白がった。だがその面白がり方は対照的だったという。

井深は「ステレオは今、アンプの出力を大きくする競争の時代だ。しかし大音響を出しても鼓膜に届くのはほんの少し。後は壁や天井に吸収されてしまう。まったくのむだだ。耳のそばで本当にいい音が出ればそれでいいはずだ。これはいい、省エネ的にも、省資源的にもこれでいい」と言う。一方、盛田は「今の若い人はね、音楽なしでは生きてゆけないんだよ。寝ても起きても、試験勉強しながらでも音楽を聴いている。ステレオもカーステレオもある。しかし家や車から離れると音がなくなってしまう。かといってラジカセでは大した音は出ない。これを作ればいつでもどこでもいい音楽が聴ける。きっと若者の必需品になるよ」。

ウォークマンの持つハードとソフトの両面の特長を、二人は直感的に見抜いたというわけだ。

▲ウォークマンを開発した、ソニーのプロジェクトチーム。テープレコーダー事業部をはじめ、さまざまな部署から集められた。盛田会長（中央）は、この記念写真で12枚のパネルを作り、サインをして黒木部長（盛田の斜め前）以下各スタッフに贈った。 リュウ・ハナブサ

発売以来一八年で一億六〇〇〇万台

ウォークマンの発売は、五四年七月一日からだった。だが、立ち上がりはほとんど売れなかった。事前の記者発表も記者たちには注目されず、全国紙では「読売」「産経」がわずか十二、三行の記事を載せただけで他紙はボツ。「二年で六万台売れれば」と期待していた黒木ら関係者からも不安の声が上がる中、突然、猛烈な売れ行きを見せ始める。発売から一ヵ月が経過していた。最初の三万台はアッという間に姿を消した。あわてて増産したが、できるはしから売り切れてしまう。まさに爆発的だった。

「ウォークマンのポイントは音の迫力。つまり体験しなければわからなかった。それが口コミでじわじわ広がった。もうひとつは雑誌です。私は、新聞記者より、雑誌記者の感性の方が鋭いと思っていました。六月末の発表なので、記事が七月下旬に出始めたんです」（黒木氏）

当時人気絶頂の歌手・西城秀樹がウォークマンをつけ、ローラースケートをしているグラビアの効果も大きかったという。八月末にはほとんどの店頭で売り切れとなった。店頭でウォークマンの奪い合いが始まり、ソニーの営業担当者は、普通なら売りこみに躍起のはずが、逆に、必死で注文を断っていたのである。

そしてウォークマンは、新聞によって「耳ふさぐ若者たち」「雑踏の中の孤独」などと揶揄される中、ローラースケート、デジタル時計と並んで、若者の「新三種の神器」となったのである。

勢いは国内だけにとどまらなかった。五四年に来日したカラヤン率いるベルリン・フィルや、ニューヨーク・フィルのメンバーも競うように買い求めた。

こうして世界を席巻したウォークマンは、今や『オックスフォード・イングリッシュ・ディクショナリー』にも載る国際語となっている。

発売以来一八年、ウォークマンは世界各国で一億六〇〇〇万台を売り上げた。

「ウォークマンは、音楽を非常にパーソナルなものに変えた。そして好みの音楽もどんどん多様化し細分化されました。大ヒット曲が出ないのはウォークマンのせいかも知れません」

作曲家の三枝成彰氏は、ウォークマンをこう評価するのである。

7~8月

フォト＋日録で再現する365日

共同通信社

▲「銀河鉄道999号」上野駅発進（7月22日）同名のアニメ映画上映にあわせた国鉄の夏休み企画で、「アンドロメダ行き」というミステリー性が人気を呼んだ。終着は栃木県烏山駅。

朝日新聞社

▼東名高速日本坂トンネル火災（7月11日）大型トラックなど6台が玉突き衝突して173台が炎上し、7人が死亡。排煙装置もスプリンクラーも役に立たず、東西の動脈は60日間ストップした。

▲「紫電改」34年ぶりに浮上（7月14日）昭和20年7月24日、長崎から松山343航空隊に帰還する途中、海へ不時着の目撃証言のあった戦闘機が、愛媛県久良湾で前年に発見され、この日引揚げられた。

朝日新聞社

▲ホヤ密生の原子力船「むつ」（7月9日）原子炉の遮蔽不備のため放射能もれ事故が生じ"死に体"だったが、改修と点検のため佐世保重工業のドックに入った。前年10月、青森県大湊港から回航された。

朝日新聞社

共同通信社

▼「阿波丸」の遺骨戻る（7月4日）昭和20年4月、台湾海峡で米軍に撃沈され物議を醸した病院船が、中国に引揚げられ、遺骨158柱が34年ぶりで祖国に。

▲つま恋フィーバー（7月28日）静岡県掛川市のつま恋広場でニューミュージック・コンサートが行われ、「アリス」「ツイスト」などの熱演に4万人が熱狂。

毎日新聞社

昭和54年7月

1（日）●ソニー、「ウォークマン」第一号を発売。

2（月）●国鉄、再建構想を運輸省に提出。六年で三五万人に削減、赤字地方線約八〇線の廃止など。

3（火）●石油五社、エクソンのナフサ供給停止を公表。

4（水）●昭和二〇年に撃沈された病院船「阿波丸」の遺骨一五八柱が中国から返還され成田着。

5（木）●江戸川区と区内そば屋二一〇軒が地震発生時の四〇万食炊き出し協定を結ぶ。

6（金）●ベーリング海で日本漁船同士衝突、一隻沈没。

7（土）●通産相、中東産油国訪問に出発（資源外交）。

8（日）●ポル・ポト政権下のカンボジアを四年間移動生活した元外交官夫人・内藤泰子、帰国。

9（月）●原子力船「むつ」、改修で佐世保ドック入り。

10（火）●東京ゼミ裏口斡旋事件で日大の四教授免職。

11（水）●静岡県の東名高速日本坂トンネルで玉突き事故。一七三台炎上、七人死亡。

12（木）●京都・萩などの一三市町村長、全国伝統的建造物群保存地区協議会を設立。

13（金）●少女刑法犯が一〇年で二・七倍と『警察白書』。

14（土）●愛媛県久良湾で戦闘機「紫電改」引揚げ。

15（日）●京都市の酒類業者、洋酒瓶全面回収を開始。

16（月）●奈良で最古の貨幣和同開珎の鋳型出土と発表。

17（火）●三重ノ海、五七代横綱に昇進。

18（水）●芥川賞にカルチャーセンター出身の重兼芳子。

19（木）●栃木市商工会議所、大地震時の被災民受け入れ宣言を議決。

20（金）●急増するインドシナ難民に国連難民会議開催。

21（土）●世界で八二人という特異血液型の日本人が西独で急病、六人の献血を日航機で緊急空輸。

22（日）●日本初の腎臓移植施設、国立佐倉病院で初めての死体腎移植が行われる。

23（月）●ゴミ持ち帰りの五三〇運動発足地、豊橋市に全国から見学者相次ぐと新聞に。

24（火）●総評定期大会。社民連と革自連を初めて招請。

25（水）●映画「影武者」で監督・黒澤明と主役・勝新太郎が衝突、主役を仲代達矢に交代。

26（木）●グラマン疑惑で自民党の松野頼三が議員辞職。

27（金）●政府、東京ラウンドのジュネーブ議定書調印。

28（土）●入学一年以内の高校退学者が四万人と文部省。

29（日）●軽油不足でディーゼル車販売三割減と新聞に。

30（月）●香川県屏風島で海水淡水化プラント実験開始。

31（火）●松下電子を最後に真空管の国内生産が終了。
●養老乃滝、「養老乃滝の牛丼は約七割馬肉」と発言した吉野家社長を告訴（第二次牛丼戦争）。

石川文洋

▲米軍、沖縄で大演習（8月18日）第7艦隊と在沖海兵隊が2週間、4万人の大兵力で実施した。26日には7000人がブルービーチで上陸作戦を展開した。

証言・あの日この日

村松友視（39）

8月26日（日）〈サーチライトが赤コーナーを照らし、「炎のファイター」のテーマに乗って、握手を求めて差し出される手をふり切ってアントニオ猪木がリングに上がり、片手を突き上げてクルリと回る独特の登場ぶりを示し、ブッチャーとシンを一瞥して大きな拍手を赤コーナーの控室に向けた。音楽がＮＴＶの「スポーツ・テーマ」に変わって人垣より頭二つ飛び出たジャイアント馬場の巨体がゆっくりと花道を進んでリングに登場、両足を踏んばって肘を張り上体を左右にゆっくり動かす準備運動を始める。猪木が馬場に歩み寄って握手〉（村松友視『私、プロレスの味方です』）

「プロレス夢のオールスター戦」のこの日、久々に馬場と猪木は同じリングに立ちタッグを組む。試合後、猪木は馬場に挑戦を申し出るが実現しなかった。（坪内祐三）

◀甲子園の「ドカベン」大活躍（8月15日）92キロの巨体の浪商・香川捕手は、水島新司の同名漫画の愛称で人気者に。2回戦では3ランを放ち（写真）、牛島投手が完封。

朝日新聞社

▼中国、産児制限政策発表（8月11日）新中国誕生時5億人だった人口が30年間で倍にふえた中国は、「第２子の出産を制限し、罰則を科す」と発表した。写真は成都市に掲げられた「ひとりっ子政策」の看板。

ユニフォト・プレス

読売新聞社

◀山口線でＳＬ復活（8月1日）昭和50年に姿を消したが、山口県小郡と島根県津和野間で営業運転を再開。沿線では1万人がカメラをかまえて見守った。

読売新聞社

▲長野の善光寺で火災（8月23日）大勧進（天台宗）とともに善光寺を支える大本願（浄土宗）の台所から出火して、御殿、奥書院など620平方メートルを焼失した。

昭和54年8月

1（水）●沖縄県、初の自衛官募集業務を開始。

2（木）●君津市の神野寺で飼育していた虎二頭が脱走。

3（金）●防衛庁、青森県車力村にナイキ基地建設要請。

4（土）●松本零士原作アニメ「銀河鉄道999」封切。

5（日）●川鉄商事東京本社の通勤調査で、五割弱が片道六〇～九〇分、九〇分以上二割弱と新聞に。

6（月）●愛知県で五ヵ国参加しアジアの子供劇場開幕。

7（火）●政府、静岡県全域はじめ六県の一七〇市町村を地震防災対策強化地域に指定。

8（水）●東京で髭の早剃り記録挑戦会。神奈川の理容師が一時間二三人の世界記録を達成。

9（木）●前年の宝籤時効当選金五九億円と第一勧銀。

10（金）●長崎でパラオ代表が非核憲法草案を発表。

11（土）●中国、人口抑制のため「ひとりっ子政策」発表。
●「旅芸人の記録」、岩波ホールで封切。

12（日）●群馬県嬬恋村での二〇〇年前の浅間山噴火による埋没地区の発掘で人骨二柱を発見。

13（月）●滋賀県、省エネ休暇として三日間一斉盆休み。

14（火）●原作あるアニメにも独自の著作権と大阪地裁。

15（水）●カンボジアのヘン・サムリン政権、ポル・ポト政権下で約三〇〇万人が虐殺されたと発表。

16（木）●国際電電、半導体レーザーを開発と発表。

17（金）●通産省、死傷事故続いた中国製花火一〇〇万本の回収を業者に指示。

18（土）●米軍、沖縄で四万人参加の上陸大演習を開始。

19（日）●阿蘇山での全国凧揚げ大会で東京の女性が連凧三四七個の女性世界新記録。
●夏の甲子園で浪商の「ドカベン」香川伸行、準々決勝で三試合連続本塁打の大会新。

20（月）●築地中央市場に初めて中国産の松茸が入荷。

21（火）●夏の甲子園で箕島高が史上三度目の春夏連覇。

22（水）●中年の自殺率が若者を抜くと厚生省調査。

23（木）●長野市の善光寺大本願で出火。四棟を全焼。

24（金）●海上保安学校で初の女性一一人が合格。

25（土）●横浜市が一人三万円のヤミ賞与支給と発覚。

26（日）●プロレスでＡ・猪木とＧ・馬場が初タッグ。

27（月）●田端義夫、ラスベガスで二九万ドル獲得。

28（火）●鳳蘭、在団一五年で宝塚歌劇団を退団。

29（水）●都内大手企業の約七割が総会屋容認、年間賛助金は一〇〇億円以上と警視庁発表。

30（木）●三菱化成と日商岩井、イランから撤退と発表。

31（金）●政府、関東と関西の二ヵ所にインドシナ難民の定住促進センター設置と決定。
●広島市、一〇番目の政令指定都市に決定。

9~10月

毎日新聞社

◀**阿蘇中岳が大爆発（9月6日）**第１火口が大音響とともに噴火し、爆風や火山弾で観光客3人が死亡、16人が負傷した。阿蘇山の噴火で死者が出たのは昭和33年以来のこと。

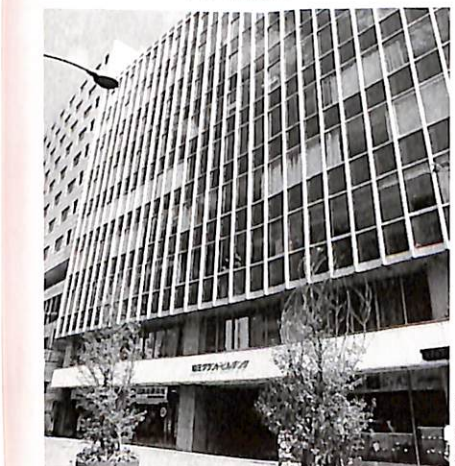
東京動物園協会

▲**ランラン死ぬ（9月4日）**前月末から食欲不振で妊娠の影響と見られたが、急性腎不全に尿毒症を併発し、徹夜の看病（写真）も実らなかった。カンカンとともに来日して7年目だった。

▼**公費天国、日本鉄道建設公団（9月6日）**カラ出張にヤミ賞与、入居ビル（写真）のまた貸しなど、組織ぐるみの不正経理約4億円が内部告発で発覚。10月、総裁更迭で終止符。

共同通信社

共同通信社

◀**スモン、全面和解へ（9月15日）**整腸剤キノホルムを原因とする薬害患者のうち、係争中の団体「スモンの会全連協」が、国・製薬3社と終身手当をもりこんで合意。写真は確認書に署名する製薬会社代表。

読売新聞社

▶**初の全国高齢者ゲートボール大会開催（9月18日）**東京・巣鴨の三菱グラウンドで行われ、12都県から20チーム、60歳以上の720人が参加。最高齢者は84歳だった。

毎日新聞社

▲**最新戦闘機、嘉手納基地に配備（9月29日）**在沖米軍基地の機能を強化するため、抗議の県民300人が見守る中、F15イーグル16機が飛来した。

昭和54年9月

1（土）●環境庁など、ニホンカモシカの禁猟方針転換。
2（日）●国際身障者スポーツ大会開幕。日本は金九個。
3（月）●福井県の敦賀原発で一次系蒸気もれ事故。
4（火）●上野動物園でパンダのランランが死亡。
5（水）●八重洲ブックセンター、開店一周年で五〇〇万冊販売と新聞に。
6（木）●阿蘇山の中岳が大爆発。観光客三人が死亡。
●会計検査院、日本鉄道建設公団の組織的不正経理の追及開始（10月22日川島総裁更迭）。
7（金）●大平首相、不信任案提出され衆議院を解散。
8（土）●通産省、ボウリングをスポーツと認め、娯楽施設利用税の適用除外と決定。
9（日）●上福岡市の中学一年生、いじめを苦にマンションから飛び降り自殺。
10（月）●札幌市の豊平川で二六年ぶりにサケを確認。
11（火）●香港ルートの覚醒剤密輸摘発で一二人逮捕。
12（水）●動燃の人形峠ウラン濃縮試験工場の運転開始。世界八番目の濃縮ウラン生産国に。
●松島水族館でマンボウ飼育四二七日の世界新。
13（木）●市川市住民、三〇分遅刻が慣習化している市職員の給与返還求め住民監査請求提出。
14（金）●チェロ奏者・上村昇、カサド・コンクール一位。
15（土）●スモンの会と国・製薬三社、和解確認書調印。
16（日）●徳山市で住宅ローンを苦にした会社員が、絞殺した妻子四人を車に乗せたまま崖に衝突死。
17（月）●私鉄総連、六〇歳への定年延長を要求。
18（火）●東京で第一回高齢者ゲートボール大会開催。
19（水）●馬渕晴子、みずから主演した丸正事件（30年）描いた映画は再審に不利と上映中止を要求。
20（木）●ハーレクイン・ロマンス、日本で第一回配本。
21（金）●英仏、コンコルドなど次世代機開発を中止。
22（土）●沖縄県議会、自衛官募集事務予算を全額削除。
23（日）●ニューヨークで二〇万人が反原発集会開催。
24（月）●世界銀行への融資額は日本が最大と世銀発表。
25（火）●経団連、制度が複雑、徴税費用がかかるなどの理由から一般消費税導入反対と決定。
26（水）●鈴木都知事、美濃部時代の方針を転換し米軍に横田基地内にある都有地の使用を許可。
27（木）●福岡高裁、免田事件（23年）の再審開始を決定。
28（金）●環境庁、高知県南部に残存三、四十頭のニホンカワウソの保護区設置と決定。
29（土）●新潟県警、元大光相銀社長を乱脈融資で逮捕。
30（日）●サントリー、初の中国ロケによるウイスキーのテレビコマーシャルを放映。

朝日新聞社

▲**木曽御岳山、初噴火（10月28日）**突然、轟音とともに大噴煙を噴き上げ、有史以来の初噴火。噴煙は千数百メートル、降灰は100キロの範囲におよび、畑が全滅した地区もあった。

◀**カラヤン、早大でタクト（10月13日）**ベルリン・フィルの終身常任指揮者は名誉博士号を贈られた後、お返しに早大交響楽団を指揮。1500人の観客は指揮ぶりに見入った。

朝日新聞社

時事通信社

◀**『愛のコリーダ』刊行は無罪（10月19日）**単行本の著者である映画監督・大島渚（右端）と出版社社長が、猥褻文書・図画販売罪で起訴されていた。昭和57年東京高裁の控訴審でも、無罪となった。

▼**韓国の朴大統領、暗殺（10月26日）**ＫＣＩＡ分室での夕食会で、側近の金載圭部長により射殺された。独裁政権退陣を求める反政府デモも起きていた。写真は11月7日の現場検証での金。

WWP

共同通信社

▲**台風20号各地に猛威（10月19日）**紀伊半島に上陸、時速70キロで本州を縦断し、首都圏だけでも死者25人、行方不明13人の被害が出た。写真は静岡県田子の浦の砂浜に打ち上げられたインドネシアの貨物船。

共同通信社

◀**中国、28年ぶり五輪復帰（10月25日）**名古屋でのＩＯＣ理事会は、中国の加盟と中華民国の台湾名での参加を決議。翌年アメリカでの第13回冬季大会から参加した。写真左はＩＯＣキラニン会長。

昭和54年10月

1（月）●文部省、高校の必要単位を五単位減と改定。
2（火）●ＫＤＤ社員が社命受け数千万円の装身具を不正申告で国内持ちこみ（25日板野社長辞任）。
3（水）●身障者雇用率は大企業ほど低率と労働省調査。
4（木）●韓国与党、金泳三の議員除名決議を単独可決（13日新民党の全国会議員六六人辞表提出）。
5（金）●辰巳柳太郎らの「新国劇」が倒産。
6（土）●六年前に行方不明の小型機、愛媛山中で発見。
7（日）●旭川市でスタルヒン投手の銅像の除幕式。
8（月）●司法試験合格発表。女性四〇人で過去最高。
9（火）●自民党福田・三木・中曽根三派、大平退陣要求。
10（水）●成田空港への燃料輸送列車を反対派が襲撃。
11（木）●東京都台東区で小学二年の少女が四年の少女にマンションの屋上から突き落とされ死亡。
12（金）●閣議、三井グループのイラン石油化学コンビナート計画への二〇〇億円政府出資を決定。
13（土）●カラヤン、大隈講堂で早大交響楽団を指揮。
14（日）●東京・晴海埠頭での米国船上デパートに安い牛肉を求める客が殺到、入場制限を行う。
15（月）●鈴木自動車、新工場で女性を半数雇用と発表。
16（火）●滋賀県議会、琵琶湖富栄養化防止条例を可決。リンを含む合成洗剤の使用を禁止。
●近鉄、球団創設三〇年で初のリーグ優勝。
17（水）●通産省、九月の灯油一八ℓ一〇五八円と発表。
18（木）●鈴木都知事、アセスメント条例案撤回を表明。
19（金）●東京地裁、『愛のコリーダ』猥褻裁判で、大島渚と三一書房社長・竹村一に無罪判決。
20（土）●都議会、猛獣飼育許可制などペット条例可決。
21（日）●「暁の超特急」吉岡隆徳、古稀祝いで一〇〇メートル走り一五秒一を記録。
22（月）●女子大生の希望職種一位は教師とリクルート。
23（火）●海上自衛隊が環太平洋合同演習に参加と発表。
24（水）●阪神の小林繁、二二勝をあげ沢村賞に決定。
25（木）●漫才のWヤングの中田治雄、野球賭博による借金苦に自殺（11月15日、月亭可朝逮捕）。
26（金）●韓国の朴大統領、ＫＣＩＡ部長に射殺される。
●ＴＢＳ、「3年B組金八先生」の放映開始。
27（土）●知恩院尼僧養成高校が生徒減で閉校と新聞に。
28（日）●木曽御岳山が有史以来初めて噴火。
29（月）●革労協、霞が関の検察庁舎に火炎放射攻撃。
30（火）●筑波大で学生約四〇〇人が、学園祭の自主運営のため学長との交渉を要求し職員と衝突。
31（水）●東証、証券取引法違反で告発された大光相銀の取引停止と上場廃止決定。銀行では初。

▼南極ツアーの飛行機墜落（11月28日）ニュージーランド航空の旅客機が、ロス島エレバス山に激突し、乗員・乗客257人全員が死亡、うち日本人は24人だった。低空の旋回飛行が売りものだったという。

WWP

▲初の東京国際女子マラソン（11月18日）日本で初の女子による国際マラソンが、東京国立競技場から第一京浜国道平和島口折り返しのコースで行われ、50選手が参加。英国のジョイス・スミス（左端）が優勝した。

読売新聞社

朝日新聞社

▲ドタバタ自民抗争劇（11月1日）総選挙敗北後の自民党後継者選びは、田中・大平の主流派と福田・三木の非主流派が「40日抗争」を展開。党本部の非主流派バリケードを浜田幸一らが排除。

時事通信社

▼小樽運河、埋め立て決まる（11月14日）北海道小樽市議会では、保存か埋め立てか議論が続いていたが、埋め立て道路派が強行採決。運河は大正時代に作られた艀だまり。昭和63年には工事が完成した。

読売新聞社

▲広島、球団創立30年目で初の日本一（11月4日）日本シリーズ第7戦は大阪球場で行われ、9回裏無死満塁のピンチを江夏・水沼（写真）バッテリーの踏んばりで逃れ、近鉄を下した。

▶新幹線、時速304キロ記録（11月30日）昭和56年春の開業をめざし、テストが続く東北新幹線では、10月から小山新幹線走行試験場で高速走行テストに入り、最終日の12月7日には319キロを記録。

共同通信社

◀マザー・テレサにノーベル平和賞（12月10日）テレサはインド・カルカッタのスラムで、30年あまり孤児や貧しい人々の救済活動を行っていた。賞金は寄付、晩餐会も固辞した。3度来日し、1997年9月5日永眠。87歳。

沖守弘

▲数の子、高騰（12月）1キロ2万円～2万5000円、前年の2倍という異常な高値に「黄色いダイヤ」と呼ばれた。高値の理由は、日本の水産会社がカナダで3月に買い占めたせいだった。

共同通信社

▶体操ニッポン、王座から転落（12月5日）米テキサス州フォートワースでの第20回世界選手権で国際大会10連勝の男子チームは、団体総合2位となり、王座をソ連に明け渡した。写真は表彰式でソ連チームを祝福する日本チームの選手たち。

共同通信社

◀ＫＤＤ強制捜査（12月4日）社用贈答品の密輸事件で、本社（写真）など23ヵ所を家宅捜索。巨額の交際費が明らかになり、郵政省の収賄事件に発展した。

読売新聞社

▼藤圭子、さよなら公演（12月26日）東京・新宿コマ劇場で、3000人を前に熱唱。昭和44年「新宿の女」でデビュー、"怨歌"と呼ばれる独自の歌の世界を作った。

報知新聞社

▼ソ連、アフガニスタン侵攻（12月27日）次第に民族主義的色彩を強め、ソ連離れの政策をとり始めた前政権に対し、アフガニスタンのイスラム化を憂慮したソ連が軍事介入に踏み切り、親ソ派カルマルが全権を掌握。カーター米大統領はソ連軍の撤退を要求するが、約8万5000人が侵攻したとされる。写真は30日、カブール空港のソ連軍。

WWP

昭和54年11月

1（木）●東洋工業、米フォード社と資本提携。
2（金）●パリで怪盗メスリーヌが警官隊に射殺される。
3（土）●シャープ、国産初の携帯英和・和英電子翻訳機IQ3000を発売（三万九八〇〇円）。
4（日）●テヘランで米大使館占拠事件。一〇〇人人質。
●プロ野球の広島、日本シリーズ初優勝。
5（月）●丸善、全国初の無料書籍検索サービスを開始。
6（火）●医師国家試験合格率が史上最低の二九・二％。
7（水）●中央新幹線建設促進期成同盟会、設立。
8（木）●社会党、共産排し社公中軸の中道路線を確定。
9（金）●「四〇日抗争」終結し第二次大平内閣発足。
10（土）●東京浅草で手形埋めた「スターの広場」完成。
11（日）●横浜の山下公園で童謡にちなむ「赤い靴をはいてた女の子」像の除幕式。
12（月）●南アルプス・スーパー林道、一二年ぶり完工。
●米、大使館占拠事件でイラン原油を全面禁輸。
13（火）●飛鳥田社会党委員長、同党党首として初訪米。
14（水）●小樽市議会、小樽運河埋め立てを強行採決。
15（木）●京都市で賭博の借金で中学生が同級生を殺害。
●「未婚の母」世帯は五年で倍増、三万強と。
16（金）●聴覚障害者の劇団「アメリカ・デフ・シアター」、新宿で来日初公演。
17（土）●大友よふ地婦連会長、カンボジアの子どもに食糧援助をと一億円の小切手を外相に手交。
18（日）●国際陸連公認の初の女子大会、東京国際女子マラソン開催。ジョイス・スミス優勝。
19（月）●原子力安全委、低レベル放射性廃棄物の試験的海洋投棄計画を了承。
20（火）●不動産取引へのクーリングオフ制導入決定。
21（水）●むつ小川原石油国家備蓄基地の起工式挙行。
●三菱電機、人工衛星の生産工場を開所。
22（木）●広島銀行、優勝記念の「赤ヘル定期預金」発売。
●政府、中国からの輸入全品目に特恵供与方針。
23（金）●広島の被爆者、原爆投下の「エノラ・ゲイ」の飛行日誌などを約九〇〇万円で買い取る。
●西城秀樹の「ヤングマン」、日本歌謡大賞受賞。
24（土）●富士山で滑落相次ぎ七パーティーで四人死亡。
25（日）●木村功・織本順吉らの劇団青俳、倒産し解散。
26（月）●河野洋平、新自由クラブの代表を辞任。
27（火）●環境庁、朱鷺捕獲と人工増殖の方針を決定。
28（水）●南極観光中の旅客機が墜落。二五七人死亡。
29（木）●奄美大島に石油精製基地計画中の東亜燃料で反対派四十数人が座りこむ。
30（金）●日赤医療班、カンボジア難民救援に出発。

昭和54年12月

1（土）●大平首相、パレスチナ独立国家支持と答弁。
●KDD、国際電話料金値下げ。北米は二五％。
2（日）●地方公務員給与は平均七・三％国家公務員より高いと自治省調べ。
3（月）●電電公社、東京二三区で自動車電話を開始。
4（火）●第一回日ソ円卓会議、東京で開催。
5（水）●松前重義、国際柔道連盟会長に選出される。
6（木）●仙台地裁、松山事件（30年）死刑囚・斉藤幸夫の再審開始を決定。
●渤海海底油田の日中共同開発基本合意書調印。
7（金）●東北新幹線試験線で世界最高三一九キロを記録。
8（土）●市民の保存要求で網走刑務所の舎房・講堂などを法務省が市に売却方針と新聞に。
9（日）●創業三〇年の新宿の歌謡酒場「どん底」が全国からの激励の声で存続を決定と新聞に。
10（月）●マザー・テレサ、ノーベル平和賞受賞。
11（火）●インドシナ難民の姫路定住促進センター開所。
12（水）●五三年度の大企業の使途不明金は三三七億円、前年度比四割増で過去最高と国税庁。
13（木）●日本プロスポーツ大賞に具志堅用高と決定。
14（金）●会計検査院、不正経理や国費の浪費は二六九億八五〇〇万円と「公費天国」の実態報告。
15（土）●ATG映画「もう頬づえはつかない」封切。
16（日）●高齢者雇用率低い五三二社が改善計画提出。
17（月）●日ソ共産党首脳会談。断絶が一五年ぶり終結。
18（火）●角膜・腎臓移植法、公布。本人の意思尊重へ。
19（水）●自民党、土地は緩和の五五年税制大綱決定。
20（木）●外国政府から公務員への贈り物は二万円が限度と外務省官房長が参院決算委で答弁。
21（金）●衆参両院、「財政再建に関する決議」を採択。
22（土）●豚肉暴落で出荷期すぎた肥満豚続出と新聞に。
23（日）●東京都老人クラブ連合会、予算大蔵原案は福祉切り捨てと日比谷公園で抗議集会開催。
24（月）●通販大手の専商、倒産。負債総額約五〇億円。
25（火）●キャプテン・システムの公式実験開始。
26（水）●電通、総広告費が初の二兆円突破と発表。
27（木）●アフガニスタンにソ連軍侵攻。
●気象庁、降雨確率予報の導入を決定。
28（金）●小澤征爾指揮・中国中央楽団が「第九」演奏会。
29（土）●東京の保母グループがカンボジア難民の乳幼児を世話するためタイへ出発。
30（日）●警察庁集計で金融機関への強盗事件が一二二件と倍増、三日に一回の割合と新聞に。
31（月）●美空ひばり、七年ぶりに紅白歌合戦に出場。

世相 楽 多 市
儀がらくたいち

◀芸能人の手形とサインを埋めこんだスターの広場の除幕式が、11月10日、東京・浅草公会堂前で行われた。 時事通信社

流行語

空想化時代の先導役

「エイリアン」。七月に公開されたアメリカのSF映画のタイトルで、宇宙の別の星からやって来た"異星人"のこと。この映画が爆発的にヒットしたことから、映画からテレビ、テレビゲームまでSFブームが起こった。さらにエイリアンが超能力の持ち主だったことから超能力の代名詞となり、"旧世代"からは理解不可能な"新人類"をさす言葉としても使われた。

「シカト」。無視すること、仲間はずれにすること。小・中学生の間では、いじめる側といじめられる側の力関係を定着させるために実行され、その上下関係がはっきりしたところで、深刻ないじめにエスカレートした。

「母原病」。愛知医大・久徳重盛教授が提唱したもので、母親への過度の依存から起こる病気のこと。喘息や胃潰瘍のように明らかな疾患から、無気力や家庭内暴力などといったものまで、その症状は広範囲。

「ニャンニャン」。前年から日本でも猫ブームが本格化、この年はさらに広がって若い女性がうれしい時などに「ニャンニャン」と猫みたいな声を発することが流行した。後にはそれがセックスを表す言葉となった。

流行

新人のマナー教育にお辞儀練習機

〔大阪発〕大阪のデパートから"お辞儀練習機"が発売された。この機械、体を入れると「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」といった言葉と一緒に、背後にある鉄の棒が楕円を描くように動き、お辞儀をしないではいられないという仕組み。もとはと言えば新入社員に接客マナーをたたきこむために考案したが、話を聞いた大手家電メーカーや各地の温泉旅館組合などからどっと引き合いが来たため量産に乗り出したもの。「どこも新人のマナー教育には頭が痛いようで」とは同デパートの弁。（「週刊新潮」五月二四日号）

▲「キン肉マン」の連載が「少年ジャンプ」22号から始まる。登場人物の消しゴムが大ブーム。 ©ゆでたまご 集英社

CM100年

ポスター「男には男の武器がある。――アルギンZ」（味の素）

タレント・若山富三郎

データ

富山の置き薬が三位 風邪薬のシェア

TBS系のJNNが全国の家庭（三二〇六人）を対象に薬のシェア調査を行った。その中の風邪薬についてみると、

①ルル＝二二・二％、②ベンザ＝一九・七％、③富山などの置き薬＝一四・二％、④コンタック600＝一一・四％、⑤パブロンゴールド＝九・〇％。六位以下はコルゲンコーワ、改源、ジキニン、エスタック、ストナという順。ちなみに置き薬は頭痛薬や鎮痛剤では五位、胃腸薬・消化剤では七位と、まだまだ隠然たる勢力？を誇っていることがわかった。（JNN『ブランド別保有率調査』）

シャープ提供

▲日本語を英語に、英語を日本語に翻訳する「ポケット電訳機IQ3000」をシャープが新発売。価格は3万9800円。

はやり歌

夢追い酒

作詞 星野栄一
作曲 遠藤 実

悲しさまぎらす　この酒を
誰が名付けた　夢追い酒と
あなたなぜなぜ
わたしを捨てた
みんなあげて　つくした　その果てに
夜の酒場で　ひとり泣く
死ぬまで一緒と　信じてた
わたし馬鹿です　馬鹿でした
あなたなぜなぜ
わたしを捨てた
指をからめ　眠った　幸せを
思いださせる　流し唄
おまえと呼ばれた　気がしたの
雨ににじんだ　酒場の小窓
あなたなぜなぜ
わたしを捨てた
じんとお酒　心に　燃えさせて
夢を追いましょ　もう一度

ソニー・ミュージックエンタテインメント提供

▲流しの演歌師体験を持つ、作曲家・遠藤実と歌手・渥美二郎のコンビで182万枚を売る。

贈る言葉

作詞 武田鉄矢
作曲 千葉和臣

暮れなずむ町の　光と影の中
去りゆくあなたへ　贈る言葉
悲しみこらえて　微笑むよりも
涙かれるまで　泣くほうがいい
人は悲しみが　多いほど
人には優しく　出来るのだから
さよならだけでは　さびしすぎるから
愛するあなたへ　贈る言葉
夕暮れの風に　途切れたけれど
終わりまで聞いて　贈る言葉
信じられぬと　嘆くよりも
人を信じて　傷つくほうがいい
求めないで　優しさなんか
臆病者の　言いわけだから
はじめて愛した　あなたのために
飾りもつけずに　贈る言葉
これから始まる　暮らしの中で
だれかがあなたを　愛するでしょう
だけど私ほど　あなたの事を
深く愛した　ヤツはいない
遠ざかる影が　人混みに消えた
もうとどかない　贈る言葉
もうとどかない　贈る言葉

えとせとらレコード博物館提供

▲テレビドラマ「3年B組金八先生」の主題歌で武田鉄矢の海援隊が歌い、卒業の定番曲となる。

三面記事

国宝級もある"ムショ製品"

全国の刑務所には市販のものをはるかにしのぐ優秀な製品を作っているところが少なくない。おもな"ムショ"の特産品を紹介すると、千葉刑務所。ここは大杉栄、荒畑寒村など"卒業生"に有名人が多いことで知られているが、知る人ぞ知るのが高級紳士・婦人靴の製造で、品質は超一級と業界の折り紙つき。

富山刑務所。自慢は神社仏閣の欄間製作で、有名な正調砺波彫の伝統もここで守られている。東京・池袋のサンシャインビルには常設展示場もある。

熊本刑務所。ここで作られる久留米絣は国宝級との定評。また高級剣道具（五〇万円級）の製造では日本一のレベルを誇り、注文は三年先までびっしり。

高松刑務所。後継者の絶えた伝統工芸を刑務所の中で復活させようというのが、この"ムショ"の方針。漆器の中でも格調の高い蒟醤塗などを伝えている。（「夕刊フジ」一〇月二六日）

▶空箱が写真立てになるものなど、工夫をこらしたバレンタインデーのチョコレート商戦。東京のデパートで。

オカルト

生徒の二割が金縛り 山形の高校の珍事

〔山形発〕山形県の北端、金山町の金山高校で、全校生（二七二人）の二割が"金縛り"の体験者であることがわかった。保健調査の結果判明したもので、その大半は寝ようとしたら何かにおさえつけられたみたいで、手足が動かなくなったというものだが、このほか修学旅行で一六人の生徒が何の前ぶれもなく泣き叫んだり、サムライの幻覚を見たと訴えるなど、オカルト・ブームが山間の子にまで浸透していることがわかった。（「アサヒ芸能」三月一日号）

サラリーマン

災いは宝籤にあり 焼き捨てた一〇〇〇万円

〔長野発〕長野県鼎町（現・飯田市）で、宝籤の二等（一〇〇〇万円）にあたった会社員が、同僚の前でその籤を焼き捨てるという"事件"があった。この男性は横山博道さん（三六）で、前年暮れに上京した時に買った四〇枚のうちの一枚が一〇〇〇万円に当選した。その話が町中の噂となり、新年の休みが終わって出社しても誰も口をきいてくれず、ようやく話しかけてきた人も大金へのやっかみばかり。このため不眠症におちいった横山さん、一月六日、ついに同僚の前でライターであたり籤を焼き捨てたもの。（長野県おもしろ世相史刊行会編『長野県おもしろ世相史・昭和編下』）

外国

独裁者待望が六〇％突破 イタリア人は独裁が好き

〔ローマ発〕イタリアの世論調査で男性の六三％、女性の七〇％が独裁者を待ち望んでいることがわかった。政治的不安定に対するいらだちからというのが表向きの説明だが、強くなった女を独裁者がギャフンといわせて欲しいからとか、逆に弱い男に女が飽きたからという意見もあった。（「週刊文春」五月四日号）

▶アメリカ先住民の頭飾りをあしらったやまもと寛斎の春夏新作コレクション。

▲7月3日、銀座で巣を作っていた約1万匹の蜜蜂を発見。養蜂店の社長がいぶして巣箱へ。

この年の初もの

プロ野球のスピードガン 日本テレビが使用開始

●**カプセルホテル**　帰りそびれた人専用として大阪に登場。東京にできたのは昭和五五年。

●**ロールスロイスのレンタカー**　東京の不動産会社が始めたもの。料金は六時間、四万九五〇〇円。

●**トイレ用擬音装置**　水道用品メーカーの折原製作所が開発。

●**自動車学校の合宿教習**　山形県の自動車教習所が始めた。

世界の動き

亡命生活一四年三カ月！ ホメイニ師の帰国で爆発した イラン革命とイスラム・パワー

▲革命イランの最高指導者となったホメイニ師は、全中東のイスラム教徒にイスラムの原理への回帰をうながした。 FARNOOD／オリオン・プレス

一九七九年二月一日、イスラム教シーア派の最高指導者アヤトラ・ホメイニ師は、国外追放から一四年三ヵ月ぶりに亡命生活に終止符を打ち、テヘランに足を踏み入れた。それは、イランにとどまらず全世界を震撼させるイスラム原理主義運動の発火点であった。

イラン全土から集まった五〇〇万もの人が出迎え

その日、一九七九年（昭和五四）二月一日――空軍の将校と自動小銃を持った兵士が見守る中、ホメイニ師がメヘラバード空港（テヘラン国際空港）に降り立ったのは午前九時（日本時間同日午後二時半）のことだった。

滑走路周辺はひっそりと静まり返っていた。しかし空港ビルに入ると事態は一変、待ちうけていた若者やイスラム教の指導者たちから「アラー・アクバル（神は偉大なり）」といった叫び声が湧き起こり、周囲は騒然とした雰囲気に包まれた。

その後、大歓声が轟く中、ホメイニ師が乗った車はイラン全土から集まった五〇〇万人とも言われる歓迎の人波を縫うように、反パーレビ国王運動の犠牲者が眠るベヘシュト・ザーラ共同墓地に到着した。

「ホメイニ師が乗った大型ワゴン車のボンネットには、まるでバッタのように、歓喜した民衆が次々に飛び乗りました。車はそれを振り落としながら進みましたが、特に印象的だったのは、ガラス窓に顔をくっつける若者に、ホメイニ師はこれまで見せたことのない笑みを返し、手をあげたのです。それが何を意味して

いたのは、前年一九七八年九月八日。死者二五〇人にもおよんだ「黒い金曜日」と呼ばれるテヘラン暴動であった。

同年一二月一〇日には、イスラム教シーア派の殉難祭・アシュラを翌日に控え、首都テヘランを中心に、イラン全土で反国王を叫ぶ空前の大デモンストレーショ

いたのか今でも理解できないのです」

厳冬のパリから、ホメイニ師が乗りこんだエール・フランスのジャンボ旅客機に同乗して取材を続けた「朝日新聞」特派員の鴨志田恵一氏（現・朝日新聞東京本社フォーラム事務局長）は当時をこう振り返る。

ホメイニ師は犠牲者に祈りを捧げた後、墓地を埋めつくした民衆を前に「国王を復帰させようとする米国の意図を、我々の生ある限り断固阻止する」と革命の遂行を訴えた。

イラン民衆を革命に駆り立てた背景には、中東イスラム社会の急激な変化があった。石油がもたらした富による極端な貧富の差と、アメリカとの癒着を強めるパーレビ国王の背信に、民衆の怒りは限界に達していた。

イスラム教シーア派は、そもそも世襲的王制を認めていない。しかし、ホメイニ師はさらに「神を敬わぬ邪悪な政権を打倒せよ」と呼びかけ、その教えは、大きな衝撃波となって民衆の心をとらえていったのである。

東京大学大学院総合文化研究科助手の山岸智子さんは「パーレビ国王が推進した近代化政策は、いたずらに国営企業や国家機関を肥大させ、国王の身内に富を集中させました。それを批判する知識人やイスラム法学者、バザール（商人）層、都市流入民などが、ホメイニ師に正義の体現者のイメージを重ねて革命気分を高揚させ、王制を打倒するにまでいたったのです」と語っている。

パーレビ国王の亡命でイスラム共和国樹立へ

パーレビ国王打倒の気運を一気に高め

▲1月19日、ホメイニ師の肖像を掲げ、テヘラン市内を埋めるデモ隊。民衆のパワーは、イスラム共和国の樹立へと突き進んだ。 WWP

外から見たNIPPON

「霧社事件」五〇周年に見た山地人ピホワリスの“母の夢”

――佐伯　修

この年の一〇月二七日は、昭和五年、日本統治下の台湾で、山地人（高砂族）が日本人に対して武装蜂起した「霧社事件」から、“数え”で五〇周年にあたる。その日、事件の舞台となった霧社と、東京の九段会館で、犠牲者の追悼式が行われた。

父ワリスクラが蜂起に参加して戦死、母イワリヘビリは蜂起直後に縊死した、ホーゴ社出身のピホワリス（中国名・高永清、一九一六～一九八二）は、その四日後の一一月一日、就寝中にこんな夢を見た。

「或る盛大な中日合同の晩会（夜のパーティ）に参加した、日本人も土人（ホーゴ社の者）も一緒になって酒を盛り灯をともして酒を会い飲み簡単な肴を取って楽しく跳舞していた瞬間私の亡母が古来の盛装を着用して舞り乍ら私の前に姿を現して来た、私も亡母も異常によろこんで抱き着いていた、母は私に亡父の行方を聞いた　私は母が去った後一日目にタロワン高地で日軍と戦って中弾して（弾に当って）死んだことを告げた。併し母は悲しい表情を現さなかった、カメラマンも傍にいたので私は五十年振りだから と言ってカメラマンにお願いして一枚写してくれることを促した、トタンに此のことは夢であったことに気が着いた　今まで見た夢で一番懐かしい夢であった」（加藤実編訳『霧社緋桜の狂い咲き』より）

ちなみに、この日、一一月一日は、彼の父親の命日である。

この事件で命を落とした日本人は一三四人、台湾低地人二人、蜂起した高地人側は七二三人を数える。惨劇の舞台、霧社周辺には、タイヤル族の中のセーダッカと呼ばれる人々が、ホーゴ社など一二の社（集落）に分かれて暮らしていたが、日本人たちは、「蕃人」と呼んでいた彼らに、労役や移住を強いるなどしたため、誇り高いセーダッカたちの間には不満が昂まった。

そのあげくに、マヘボ社のモーナルーダオを指導者とする蜂起がくわだてられ、霧社公学校での連合運動会会場襲撃が決行される。その時、小学校六年生のピホワリスは、日本人の級友たちと校庭に整列していて、危うく難を逃れた。

日本の軍と警察は、飛行機や毒ガスも使って蜂起側を鎮圧、さらに、蜂起の中心となった六社の投降者らを、手なずけた「味方蕃」に襲わせた（第二霧社事件）。

その後、医師として山地医療に尽くし、晩年には盧山温泉で旅館を営んだピホワリスは、この惨劇についてノート五冊に手記を遺した。引用はそこからのものである。

▲自身も“事件”現場で難を逃れた。

加藤実／教文館提供

ンが繰り広げられた。身の危険を感じた国王は、穏健派のバクチュアル氏に組閣を要請し、七九年一月一六日、エジプトに亡命したのである。

こうしてホメイニ師は国王のいなくなったイランに足を踏み入れたが、国王の息のかかったバクチュアル内閣を認めなかった。二月九日、ホメイニ派の兵士が決起すると国王派の軍隊は急拠、中立を宣言し、内閣は崩壊。ホメイニ師の指示によりバザルガン暫定内閣が発足し、国王の帰国の途は完全に絶たれ、革命は成就した。

すべてを見届けたホメイニ師は三月一日、聖都コムに戻り、三月三〇日には国民投票によりイスラム共和国が成立した。「世界は神のもとですべて人民大衆の家である」とするホメイニ師のメッセージは、新たな国家観として、その後も抑圧された人々に伝播していった。イラン革命の成功は、公正と正義に基づくイスラム国家の建設をめざす、イスラム原理主義運動の復権を意味していたのである。

そして「東でも西でもない」イスラム共和国は、イスラエルを足場に中東支配をもくろむアメリカ、イランと約一九〇〇キロもの国境を接するソ連の“覇権”を拒絶していく。革命によって一気に過熱したイスラム原理主義のパワーは、イラン国内では一九七九年一一月にアメリカ大使館を占拠、エジプトでは八一年一〇月に、イスラエルとの単独和平を推進した穏健派のサダト大統領を暗殺するなどの過激な行動に出る。さらには、ソ連軍の侵攻を受けたアフガニスタンなど、中央アジアのイスラム教徒をも目覚めさせ、近代国家の枠を揺さぶり続けたのである。

R・ホメイニ（1900～1989）
イスラム教シーア派の法学者、イラン革命の指導者。一九六三年、パーレビ国王の土地改革に反対、逮捕され国外追放に。亡命生活下で革命運動を指導。帰国後、イラン・イスラム共和国を樹立。一九八〇年以降、対イラク戦争を戦う。

▶一月一六日、ファラ王妃とともにエジプトに向け出国するパーレビ国王。アスワンでは、サダト大統領が夫妻を迎えた。

WWP

往きて還らぬ

▲9月18日　石田退三（90）
元トヨタ自動車工業社長。昭和25年社長に就任。その指導力で業績を急速に回復、“トヨタ中興の祖”と言われた。

▲7月8日　朝永振一郎（73）
世界的な物理学者で、超多時間理論などを発表。昭和27年文化勲章、40年ノーベル賞を受ける。著書に『量子力学』。

▲5月6日　バーナード・リーチ（92）
イギリスの陶芸家。明治42年来日、作陶のかたわら西洋近代美術などを紹介。戦後は浜田庄司らと民芸運動を推進。

▲2月15日　原信子（85）
ソプラノ歌手。日本オペラ界の草分けで、大正期浅草オペラで活躍。昭和3年日本人初のミラノ・スカラ座専属に。

▶5月23日　大下弘（56）
プロ野球選手。戦後初のシーズンで本塁打王。西鉄ライオンズの黄金時代を築いた（写真左端）。昭和34年引退。

▼10月1日　水谷八重子（74）
女優。大正5年水谷八重子を名乗り初舞台。美しい容姿で観衆を魅了し、戦後は新派の大黒柱として活躍した。

▲8月24日　中野重治（77）
小説家。戦前プロレタリア運動に参加。戦後は政界入りし、評論も残した。代表作『梨の花』『斎藤茂吉ノオト』など。

▲6月11日　ジョン・ウェイン（72）
アメリカを代表する西部劇のスター。タカ派的な言動でも知られた。代表作「駅馬車」「黄色いリボン」など。

▲3月23日　近藤日出造（71）
漫画家。昭和8年読売新聞社入社。戦中は雑誌「漫画」主筆、戦後は政治マンガ中心に活動。後進の養成にも尽力。

▲12月30日　平櫛田中（107）
彫刻家で、木彫界の重鎮。明治40年文展入選、元東京美術学校教授。昭和37年文化勲章受章。代表作「鏡獅子」など。

▶9月5日　勅使河原蒼風（78）
華道家。昭和二年草月流を創始、近代いけ花の確立に貢献。三六年、仏のレジオン・ドヌール勲章受章。写真左。

▶4月24日　小畑実（55）
歌手。戦前は「婦系図の歌」「伊那の勘太郎」、戦後も「長崎のザボン売り」などがヒット。ゴルフプレー中に急死。

既刊35冊! 1940・1960・1970年代がそろいました。

週刊 YEAR BOOK 日録20世紀

第36号 10月28日(火)発売 定価560円 毎週火曜日発売 講談社 本体533円

1951［昭和26年］

●特集
冷戦激化の中での"独立"回復 サンフランシスコ講和条約調印／でっちあげで奪われた一八年の歳月「真昼の暗黒」八海事件の恐怖／世界三位の伊東絹子もデビュー! 初のファッションショー、モデルが誕生／「原子力スパイ」の名のもとに ローゼンバーグ夫妻に死刑執行

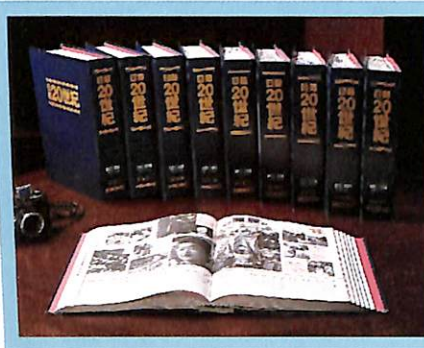
●ニュース・ファイル
フォト+日録で再現する365日…NHK、第一回紅白歌合戦を放送(1月3日)／マッカーサー解任(4月11日)／トキノミノル、一〇連勝でダービー制覇(6月3日)／石橋湛山ら、第一次追放解除(6月20日)／初のプロ野球オールスター戦(7月4日)／民放ラジオ、放送開始(9月1日)／米ネバダ州で核攻撃実験(11月1日)

●人物クローズアップ
無着成恭、「山びこ学校」出版

●決定的瞬間
写真家ビショフが直視した"インドの飢餓"

●美の出会い
戦後初の海外巨匠展「マチス展」大盛況

●女たちの肖像…「アナタハンの女王」比嘉和子／勝者・敗者…東富士対吉葉山、勝負預かり／証言・あの日この日…坂口安吾、遠藤周作／20世紀博物館…ふぐ博物館(大阪)／「現場」を歩く…横浜「桜木町事件」の供養／外から見たNIPPON…"亡命"台湾人の「戦後日本」見聞記

●ベストセラー…笠信太郎『ものの見方について』／スターと名場面…初のカラー映画「カルメン故郷に帰る」／モノ語り'51…「バヤリースオレンヂ」「ミルキー」

日録20世紀専用バインダー

高級感あふれる特製バインダーを用意しました。「日録20世紀」全100巻を10冊ずつ年代順にバインダーにとじてそろえれば、「20世紀」ビジュアル百科のできあがり。10年ごとに分類するためのシールも添付。取りはずしは簡単で、整理にも便利、じょうぶな仕上がりです。あなたの書斎を飾るホーム・ライブラリーとして、永く保存してお楽しみください。バインダーは1部1300円(税別)。全国の書店でお求めください。

■既刊好評発売中

創刊号1959[昭和34年] 第2号1964[昭和39年] 第3号1945[昭和20年] 第4号1970[昭和45年] 第5号1963[昭和38年] 第6号1958[昭和33年] 第7号1972[昭和47年] 第8号1980[昭和55年] 第9号1976[昭和51年] 第10号1989[平成元年]

第11号1960[昭和35年] 第12号1961[昭和36年] 第13号1962[昭和37年] 第14号1965[昭和40年] 第15号1966[昭和41年] 第16号1967[昭和42年] 第17号1968[昭和43年] 第18号1969[昭和44年] 第19号1941[昭和16年] 第20号1942[昭和17年]

第21号1943[昭和18年] 第22号1944[昭和19年] 第23号1946[昭和21年] 第24号1947[昭和22年] 第25号1948[昭和23年] 第26号1949[昭和24年] 第27号1950[昭和25年] 第28号1923[大正12年] 第29号1971[昭和46年] 第30号1973[昭和48年]

第31号1974[昭和49年] 第32号1975[昭和50年] 第33号1977[昭和52年] 第34号1978[昭和53年] 第37号1952[昭和27年] 第38号1953[昭和28年] 第39号1954[昭和29年]

■今後の刊行予定

▶第40号1955[昭和30年]11月25日発売
「三種の神器」で家電時代到来●「春闘」スタート●広がるヒロポン禍●ジェームズ・ディーン、激突死

▶第41号1956[昭和31年]12月2日発売
「太陽の季節」に芥川賞●憧れの2DK! "団地族"誕生●週刊誌時代到来●スターリン批判の衝撃

▶第42号1957[昭和32年]12月9日発売
石原裕次郎と日活青春映画●南極観測隊、昭和基地建設●代々木ゼミナール開校●リトルロック事件

▶第43号1931[昭和6年]12月16日発売
浅草の喜劇王・エノケン●黄金バットとのらくろ●「満州事変」勃発!●エンパイア・ステート・ビル完成

▶第44号1932[昭和7年]12月22日発売
「満州国」建国●大森ギャング事件とスパイM●五・一五事件●「ターザン」とワイズミューラー人気

▶第45号1933[昭和8年]平成10年1月6日発売
皇太子明仁親王誕生●三陸大津波の恐怖●特高、小林多喜二を虐殺●日本、ついに国際連盟脱退へ

▶第46号1934[昭和9年]1月13日発売
室戸台風の猛威●驚愕の贋作浮世絵「春峰庵事件」●大日本東京野球倶楽部設立●中国紅軍、長征開始

▶第47号1935[昭和10年]1月20日発売
大本教に大弾圧●作られた美談「忠犬ハチ公」●第四艦隊事件●スイング全盛とベニー・グッドマン

▶第48号1936[昭和11年]1月27日発売
日本を震撼させた二・二六事件●ベルリン五輪の"明暗"●西安事件●エドワード8世「王冠をすてた恋」

▶第49号1937[昭和12年]2月3日発売
盧溝橋事件勃発、日中全面戦争へ●戦艦「大和」起工●南京虐殺事件●女性飛行家イヤハート謎の遭難

▶第50号1938[昭和13年]2月10日発売
幻の東京五輪●代用品時代始まる●笑いの慰問団「わらわし隊」●岡田嘉子・杉本良吉、ソ連へ越境

▶第51号1939[昭和14年]2月17日発売
双葉山、69連勝でストップ●ノモンハン事件の悲惨●「零戦」初の試験飛行●第2次世界大戦勃発

▶第52号1940[昭和15年]2月24日発売
「紀元は二千六百年!」●日独伊三国同盟締結●強まる統制"配給"に"回覧板"●"海の狼"Uボート

▶第53号1981[昭和56年]3月3日発売
チャールズ、ダイアナ結婚●中国残留孤児の苦難●『窓ぎわのトットちゃん』刊行●第2次臨調スタート

▶第54号1982[昭和57年]3月10日発売
ホテル・ニュージャパン火災●新日鐵で高炉休止続く●日米コンピュータ戦争●フォークランド紛争

ミニ事典
1979年のキーワード

眺望権
土地や建物の所有者または居住者がその場所で良好な眺望を享受する権利。二月二六日、横浜地裁は、別荘が建てられたために眺めが悪くなったと主張する住民の訴えを認め、別荘所有者に慰謝料二〇〇万円を支払うよう命じた。平成四年の眺望権訴訟によりその法的保護はより具体的になり、重要な意味を持つ視野がさまたげられた場合の資産価値の目減りは、一二五パーセントと算定された。

大型ダンプ左折事故
前年九月、東京都葛飾区で左折する大型ダンプに自転車が接触、乗っていた母子三人が後輪に巻きこまれる死亡事故が起きた。大型車の内輪差は大きく、運転台が高いため左下方に死角がある。この事故が契機となり、運輸省は三月九日、全国の大型トラック約五六万台に左折事故防止用ミラーの取り付けを義務づけた。

女子差別定年制訴訟
日産自動車が女性の定年を男性より五年早い五〇歳としているのは、男女同権を定める日本国憲法に違反し無効であるとする、元女子従業員の訴え。東京高裁は三月一二日、一審に続きこの訴えを認める判決を下し、以降、女子差別定年制の無効が判例として確立した。

ウサギ小屋
欧州共同体(EC)委員会が日本とECとの間の貿易不均衡是正のためにまとめた対日戦略基本文書に記された言葉で、日本について「ウサギ小屋とさして変わらない住宅環境の下に生息している仕事中毒者の国」などと表現。三月二一日、これが明るみに出ると日本は厳しく批判。しかし「ウサギ小屋」は膨らむ対日貿易赤字にいらだつECの本音だった。

東京ラウンド
自由貿易体制を維持するための多国間交渉。昭和四八年に東京で開かれたガット(関税貿易一般協定)閣僚会議で開始宣言がなされた。オイル・ショック後、保護貿易主義的傾向が強まったため調印が遅れたが、四月一二日に主要先進国で仮調印にいたり、一一月正式調印。日本は鉱工業製品の平均関税率六パーセントを八年以内に半分にすることなどの非関税障壁排除に合意した。

元号法案
法的根拠がないまま公的文書や日常生活で用いている元号を、次期の天皇の登場をにらんで法制化しようという法案。「昭和」を元号とし、一世一元制、内閣が制定するという中身で大平内閣が二月二日、通常国会に法案提出。法制化実現決起大会や反対集会が開かれる中、六月六日参議院を通過、同一二日公布・施行。

天中殺
古代中国の王侯貴族が用いた宿命鑑定法の一項目で、ことを起こすとすべて不幸やトラブルに結びつくとされる「天が味方しない」時期。前年に発売された和泉宗章著『算命占星学入門』、この年六月発売の『天中殺入門』(いずれも青春出版社)が合わせて三〇〇万部以上も売れ、さらに和泉が「今年の巨人の優勝はない」と占いを的中させたため、天中殺は爆発的ブームとなった。

▲「天中殺」の和泉宗章。その後、占いはインチキと転向。

国際児童年
昭和五四年は国際連合の児童権利宣言公布二〇周年にあたるため、国際児童年と制定され、各地で記念行事が行われた。愛知県の愛知青少年公園では七月二一日から八月末まで「世界と日本のこども展」を開催。皇太子夫妻、大平首相、ラブイス国連ユニセフ事務局長らが開会式に参列、二〇五万平方メートルの会場に設けられたパビリオンで多彩な展示や催しが繰り広げられた。

1979 国際児童年

▶国際児童年のポスター。二〇万枚が作られ全国に配布された。

共同通信社

新型省エネルギー電車(201系)運転記念

▶八月二〇日、東京―高尾間の中央線快速に「省エネ電車」がお目見えした。

定住促進センター
インドシナ難民を定住させるために設けられた日本語教育や職業訓練を行う施設。難民の受け入れが少ないことを国外から批判され、日本政府は定住者五〇〇人の受け入れをめざし八月三一日に建設を決定。この年一二月姫路市、翌年二月に神奈川県大和市にそれぞれ開設した。業務はアジア福祉教育財団が行った。

公費天国
官庁、公団などが集団で公費を浪費し、それを許容しあう雰囲気を揶揄した言葉。九月六日、会計検査院が日本鉄道建設公団の「カラ出張」など組織ぐるみの不正経理の実態解明の特別班を編成し、問題化。一〇月二二日の衆議院決算委員会で約四億の不正経理が報告されたが、「カラ出張」「ヤミ賞与」など不正経理の手口は巧妙。こうした乱脈運営はその他の官庁や特殊法人でも発覚した。

省エネ対策
石油などエネルギー節約のためのさまざまの方策。一月一七日、イラン情勢を理由に対日原油供給量の削減が通告され、第二次石油危機が始まった。国をあげての石油節約策として、官庁の暖房一九度以下、公用車やエレベーターの使用制限などが実施され、五月にはガソリンスタンドも日・祝日休業。夏には半袖の背広「省エネ・ルック」が発表され、一〇月一日とうとうエネルギー使用合理化法(省エネ法)が施行された。

琵琶湖富栄養化防止条例
プランクトンの異常増殖による琵琶湖の赤潮発生を防ぐために定めた滋賀県の条例。一〇月一六日県議会で可決、翌年七月一日施行。赤潮の発生は生活排水・工場排水や農業肥料などの流入によって湖中に窒素、リンなどが増加する富栄養化によって起きるため、条例にはリンを含む合成洗剤の使用禁止がもりこまれた。

週刊YEAR BOOK／日録20世紀 1979
CONTENTS

●編集
講談社総合編纂局
アート・ディレクター 山口至剛
表紙デザイン 山口至剛デザイン室(茂村巨利)+渡邉裕…
本文レイアウト デザインオフィス八起き
編集協力 (有)エービーシープレス (株)カマル社 (株)コミュニケーションハウス・ケースリー シド・プロ (有)マックス (有)マライカ
小原伸夫 鍵和田良輔 小松邦宏 佐野長成 張替政展 藤森雅弘
結城順一 吉田忠正
●写真協力
石川文洋 沖守弘 加藤実 木之下晃 黒木靖夫 崎原朝之 篠山紀信 菅原光博 但馬憲 鳥羽和男 リュウ・ハナブサ
朝日新聞社 オリオンプレス KARSH OF OTTAWA CAMERA PRESS 共同通信社 教文館 SCIENCE PHOTO LIBRARY 産経新聞社 サンテレフォト 時事通信社 集英社「週刊ポスト」 小学館 TBS PPS FARNOOD 報知新聞社 毎日新聞社 メディア・カーム ユニフォト・プレス 読売新聞社 ロイター WWP
サンミュージック プロダクション 松竹 シャープ ソニー・ミュージックエンタテインメント 武田商店 東宝 日活 バンダイ
えとせとらレコード博物館 東京動物園協会 NASA

第1巻第35号 通巻35号
編集人 近藤幸士
定価560円
雑誌 23701 11 4
(L) 2001 1 1
T1123701110560

印刷　凸版印刷株式会社　製本　本村製本株式会社